

福山みらい創造ビジョン
人口減少対策アクションプラン2024

2024年（令和6年）4月
福山市企画財政局
企画政策部企画政策課

目次

I 人口減少の現状と課題

- 1 人口減少対策の趣旨と計画期間
- 2 外国人を含む人口減少の状況
- 3 日本人の人口減少の状況

II 人口減少対策の方向性と主な取組

- 1 2040年の目標
- 2 人口減少対策の方向性・政策ターゲット（ペルソナ）の設定
- 3 9つのペルソナと推進体制
- 4 2024年度の主な取組
- 5 ロードマップ

III 2024年度（令和6年度）のペルソナごとの取組

- 1 主な取組
- 2 成果目標
- 3 施策一覧

IV 参考 – ライフステージごとの分析 –

- 1 ライフステージごとの分析とペルソナ設定

I 人口減少の現状と課題

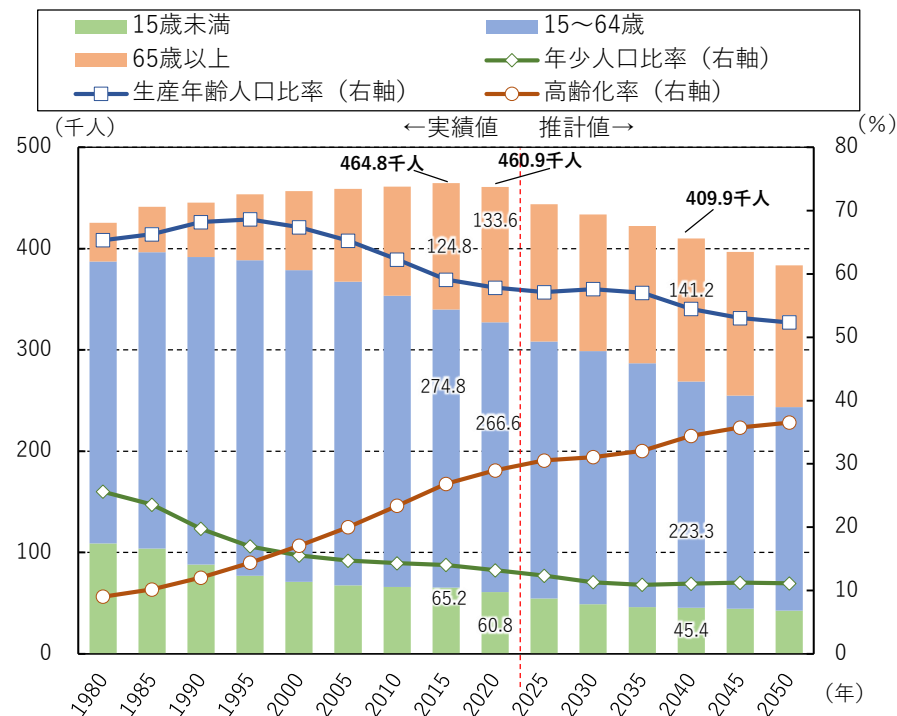
調査資料の記載方法等

- 人口関連統計データには、日本人のみと外国人を含むものがあり、タイトルの後ろにその旨を記載
- MA…複数回答、SA…単一回答
- N…アンケート回答者数（資料元に記載がない場合は未記載）
- 四捨五入により、合計が一致しない場合がある

1 人口減少対策の趣旨と計画期間

- 福山市の人口は、**2020年（令和2年）の国勢調査で460,930人**であり、1940年（昭和15年）以来の減少となりました。また、住民基本台帳における人口は、2023年（令和5年）2月末で46万人を割り込む状況となっています。
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、**2040年（令和22年）には約41万人まで減少**すると予測されています。
- 今後、人口減少が加速度的に進行することで、企業活動の縮小や生活利便性の低下、地域の魅力の低下といった悪循環が生じ、さらなる人口減少を招くおそれがあります。
- こうした悪循環を抑制するため、2018年（平成30年）8月に「新たな人口減少対策～強化策～」を策定し、2019年度（令和元年度）からアクションプランを基に、官民連携で人口減少対策に取り組んできました。
- 本プランは、出生数や転出入数などの**人口や意識変化に関するデータをライフステージごとに再分析し、より一層効果的な対策を打つために策定**するものです。
- なお、本プランは、2021年（令和3年）3月に策定した「福山みらい創造ビジョン」の柱の1つである「人口減少対策の強化」について取りまとめるものであり、**期間は、2022年度（令和4年度）から2025年度（令和7年度）まで**とします。
- 期間中に社会情勢の変化等があった場合は、適宜、本プランに反映し、具体的な取組についても毎年度見直すこととしており、この度、「人口減少対策アクションプラン2024」として更新するものです。

【福山市の将来人口推計グラフ（年齢3区分別）（外国人を含む）】



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（令和5（2023）年推計）
 ※2020年までは国勢調査の実績値（年齢3区分人口は年齢不詳を按分した数値）、2025年以降は推計値

2021年度（令和3年度）～2025年度（令和7年度）
福山みらい創造ビジョン

人口減少対策強化

2022年度（令和4年度）～2025年度（令和7年度）
人口減少対策アクションプラン

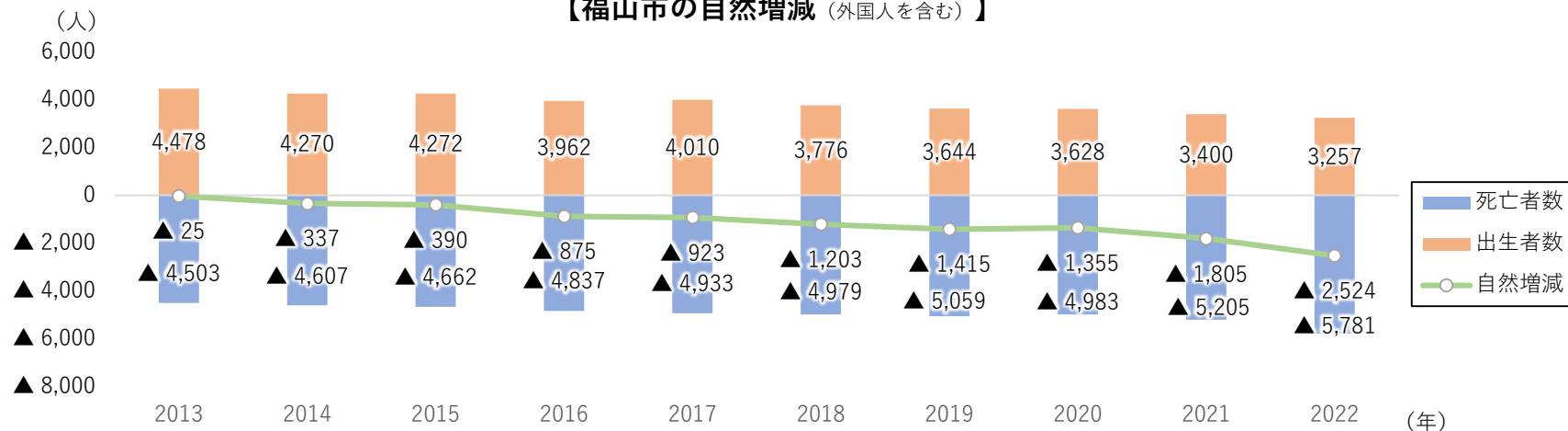


SDGs（Sustainable Development Goals の略：持続可能な開発目標）の実現に向け、多様な主体との創意工夫の下、新たな価値が創造される持続可能なまちづくりを進めていきます。

2 外国人を含む人口減少の状況

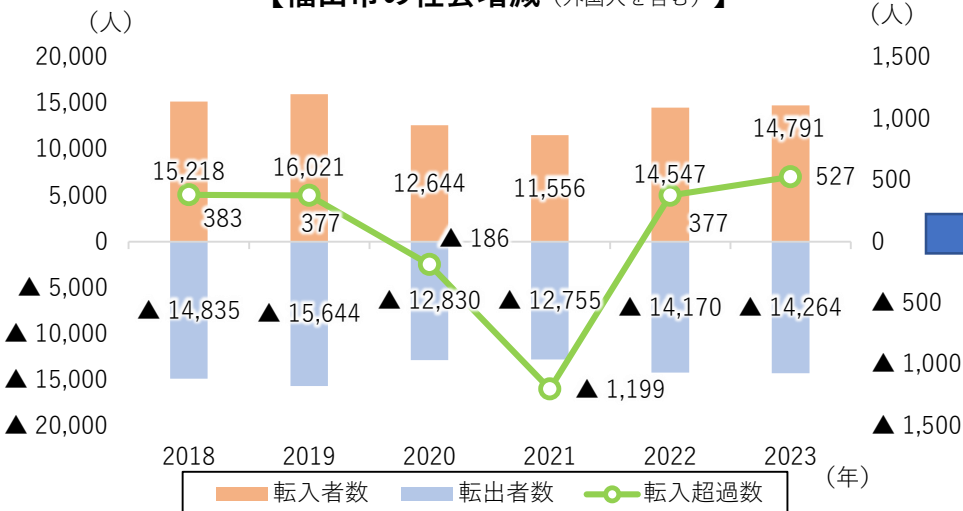
- 福山市の自然動態（外国人を含む）は、**自然減が継続**しており、年々**減少数が増加**しています。
- 社会動態（外国人及び国外移動含む）は、2020年（令和2年）及び2021年（令和3年）は新型コロナによる入国制限等の影響により、**転出超過**となりましたが、**2022年（令和4年）以降再び転入超過**となっています。

【福山市の自然増減（外国人を含む）】



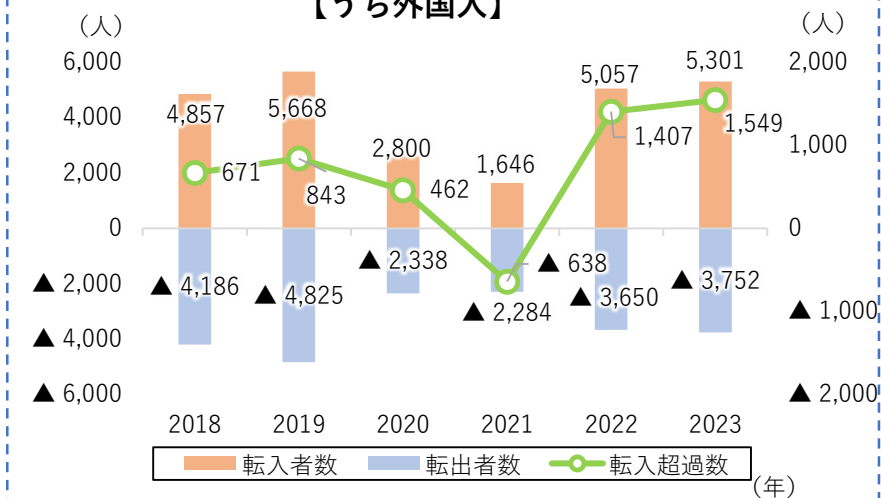
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

【福山市の社会増減（外国人を含む）】



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」
 ※国外移動を含む。2018年及び2019年の国外移動分については、福山市資料より作成

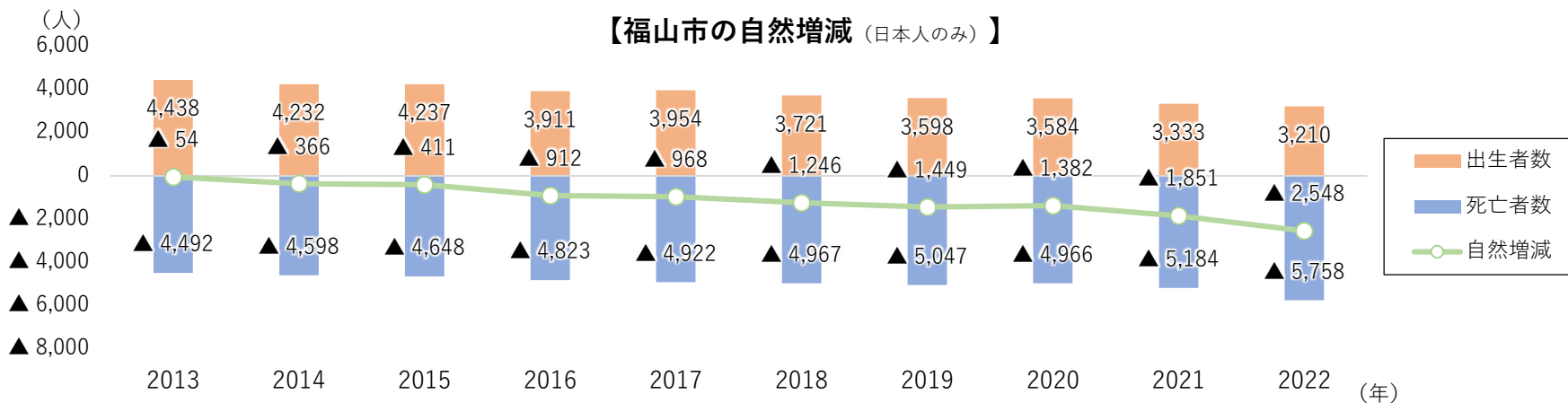
【うち外国人】



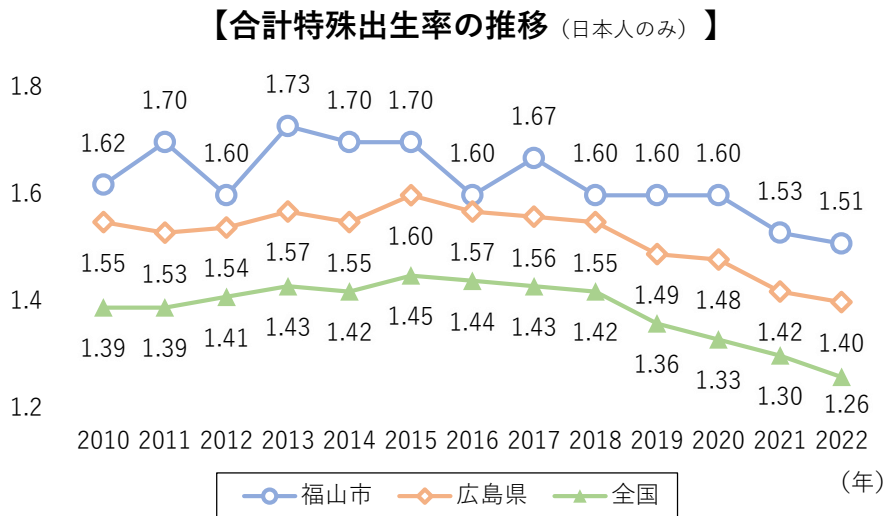
3 日本人の人口減少の状況

自然動態

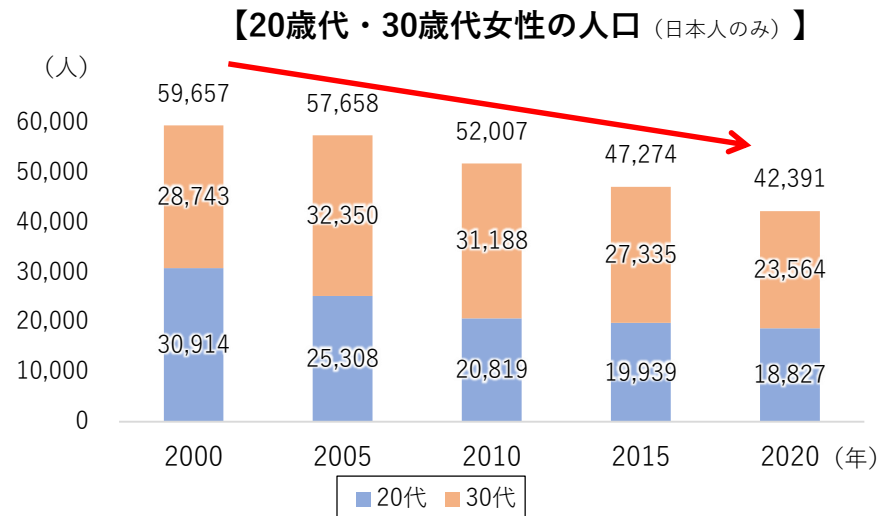
- 福山市の自然動態は、**自然減が継続し**、出生者数は直近5か年で**約700人減少**しています。
- 合計特殊出生率は、全国や広島県と比べて高い数値を維持しているものの、**下降傾向が続いていることに加え、若い世代の女性の数が減少していることが、出生数の減少に影響**しています。



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」



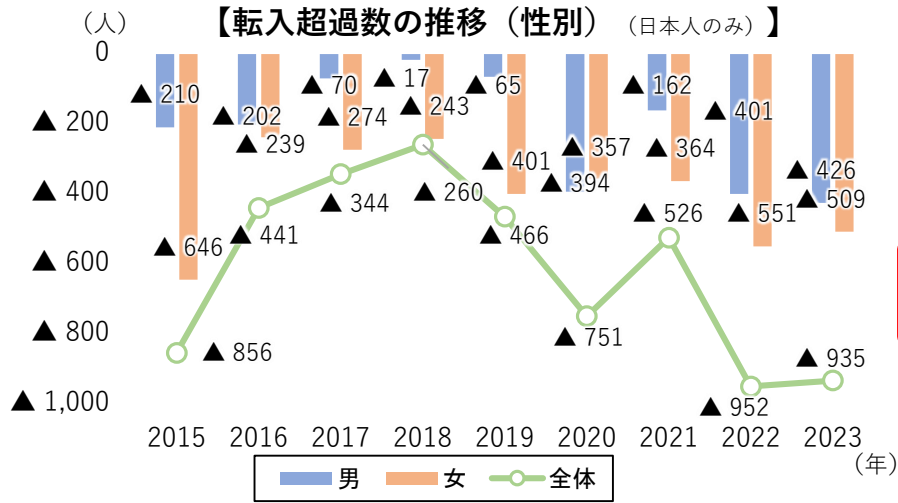
資料：福山市「福山市人口動態」



資料：総務省「国勢調査」

社会動態

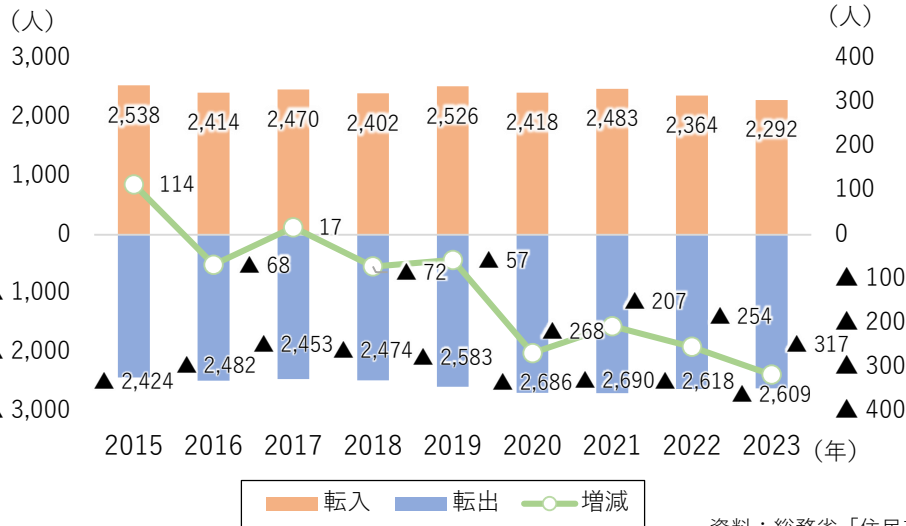
- 2022年（令和4年）に男女ともに転出超過が大きく拡大し、**2015年（平成27年）以降で最も大きな転出超過**となり、2023年（令和5年）も転出超過が続いています。
- 年代別では、**15歳～29歳の転出超過が最も大きく、若者の転出超過が大きくなっています。**
- 男女別では、特に女性で転出超過が継続しています。**



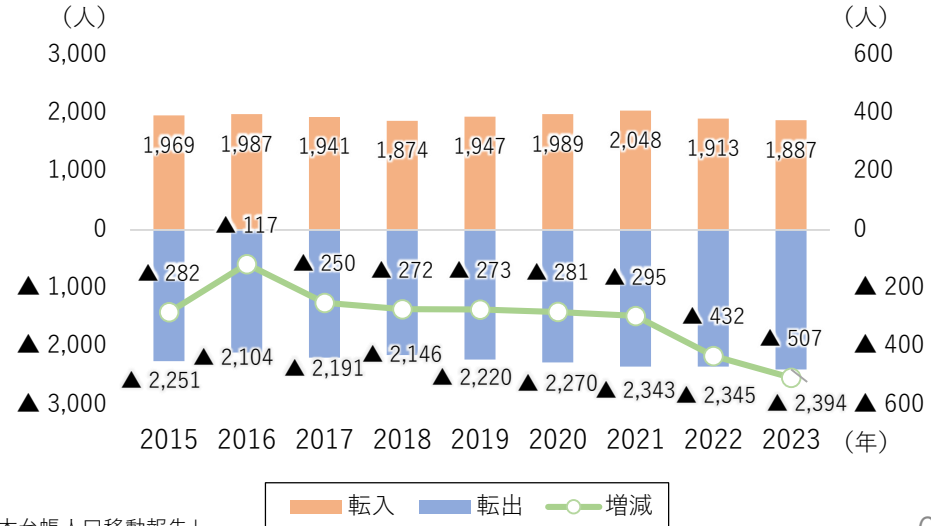
【2023年男女別年齢階級別転入超過数（年代別）（日本人のみ）】

	全体	男	女		全体	男	女
全体	▲ 935	▲ 426	▲ 509	45～49歳	▲ 13	▲ 6	▲ 7
0～4歳	▲ 120	▲ 102	▲ 18	50～54歳	▲ 4	▲ 8	4
5～9歳	▲ 39	▲ 2	▲ 37	55～59歳	40	34	6
10～14歳	▲ 16	▲ 14	▲ 2	60～64歳	74	36	38
15～19歳	▲ 157	▲ 75	▲ 82	65～69歳	14	12	2
20～24歳	▲ 465	▲ 144	▲ 321	70～74歳	▲ 12	▲ 12	0
25～29歳	▲ 202	▲ 98	▲ 104	75～79歳	22	15	7
30～34歳	▲ 82	▲ 46	▲ 36	80～84歳	2	▲ 1	3
35～39歳	▲ 8	▲ 17	9	85～89歳	23	10	13
40～44歳	▲ 36	▲ 16	▲ 20	90歳以上	44	8	36

【15歳～29歳男性 転出入数の推移（日本人のみ）】



【15歳～29歳女性 転出入数の推移（日本人のみ）】



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

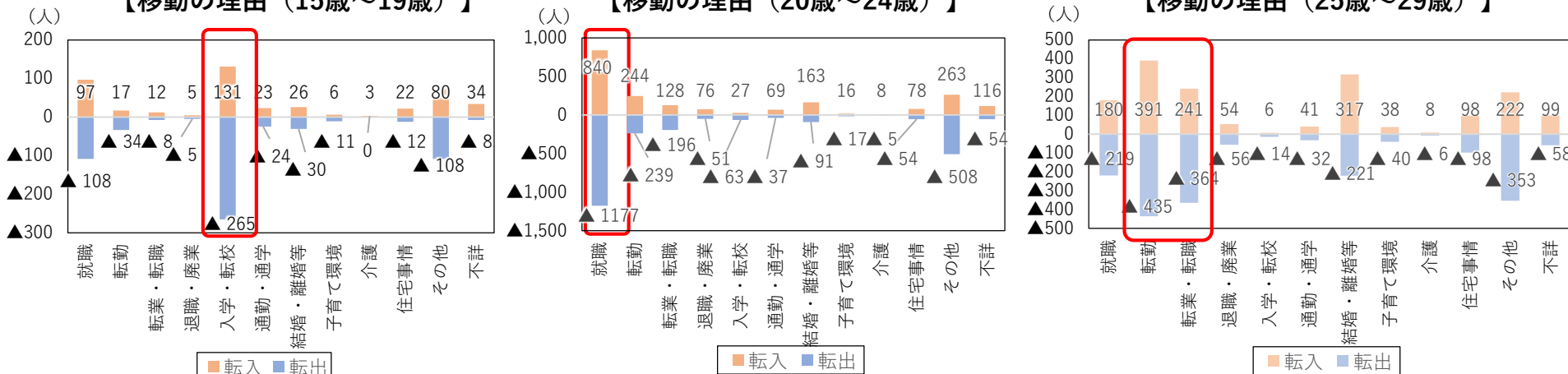
社会動態－転入・転出の要因－

- 転出入の理由を年代別に見ると、15歳～19歳は就学、20～24歳は就職、25～29歳は転勤、転業・転職による転出超過が大きくなっています。
- 高校卒業時に約6割が市外に進学しています。
- 東京圏在住者の20歳代では、地方で働く・暮らすことへの関心が高まっています。

【移動の理由（15歳～19歳）】

【移動の理由（20歳～24歳）】

【移動の理由（25歳～29歳）】



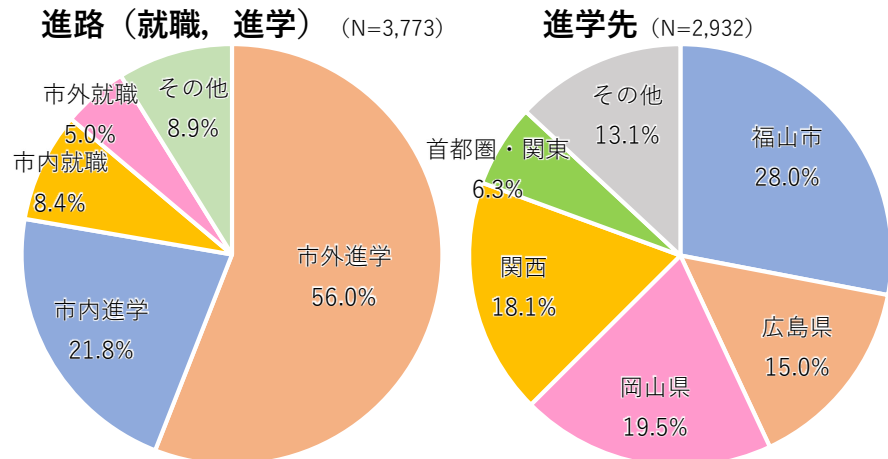
資料：広島県「人口移動統計」（2023年1月～2023年12月）から作成

※広島県「人口移動統計」の月報を福山市で集約したもの。理由別移動者数は任意調査のため、総務省「住民基本台帳移動報告」に基づく福山市の転入数・転出数（日本人のみ/2023年）に合致するよう補正を行い理由別移動者数を推計した。

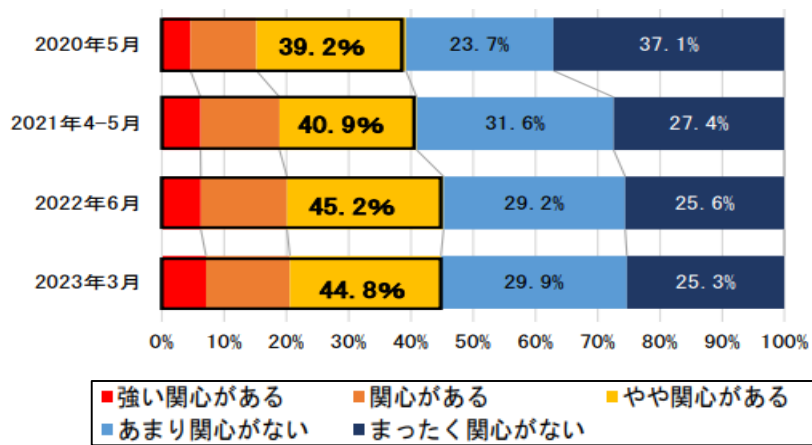
参考

【高校生の進路（SA）】

【地方移住への関心（東京圏在住者）（20歳代）（SA）】



資料：福山市「高校生進学先調査」（2023年8月）



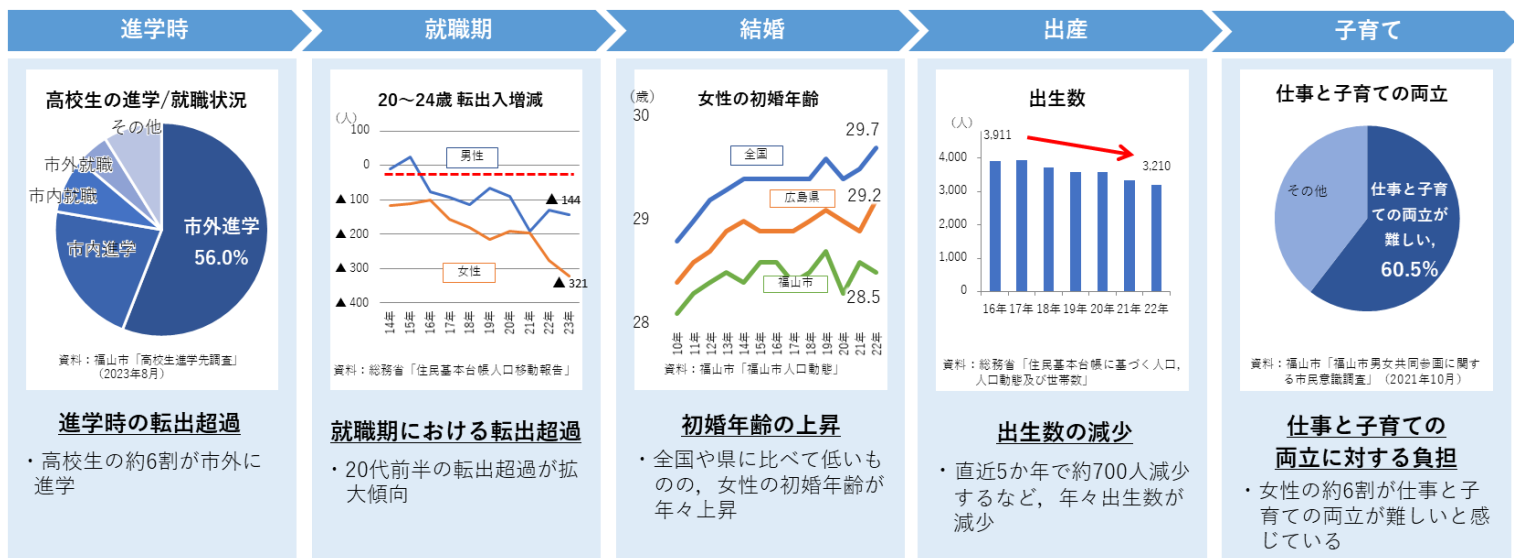
資料：内閣府「第5回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（2023年3月）

Ⅱ 人口減少対策の方向性と主な取組

1 2040年の目標

進学期～子育て

- 本市の人口動態を見ると、**出生数の減少**や、**進学期**、**就職期**などのライフステージにおける**転出超過**により、**人口減少が進行**しています。
- 初婚年齢の上昇**や、**共働き**などによる**仕事と子育ての両立**に対する**負担の増加**などにより、**今後**、さらに**少子化が加速**することも懸念されます。



移住

- コロナ禍でテレワークなど柔軟な働き方が浸透したことなどにより、**地方で働く・暮らすことへの関心が高まっています**。

人口減少が起きるターニングポイントにある人々の意識・考え方、価値観、社会の動きなどの変化を捉え、**政策ターゲット(ペルソナ)**を設定し、**満足度を高める施策を推進**します。働き方や結婚、子育てなどの選択肢が多様化している中で、一人一人が思い描くライフスタイルを叶え、**人口減少社会でも選ばれる「多様なライフスタイルが実現できるまち」**をめざします。

2040年の目標

多様なライフスタイルが実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある / 希望のライフスタイルへのサポート / 多様性を尊重しあえる心

2 人口減少対策の方向性・政策ターゲット（ペルソナ）の設定

2040年に向けた
目標

多様なライフスタイルが
実現できるまち

まずは、「現役世代を減らさない」

チャレンジ
への選択肢が
たくさんある

希望のライフスタイルへのサポート

多様性を
尊重しあえる心

注力すべき課題
(強み・弱み、アンケート結果など)

- 大学進学時の転出超過
 - ・ 高校生の約6割が市外大学に進学
 - ・ 大学の転出先は、岡山県、大阪府、東京都、京都府、兵庫県、愛媛県の順
 - ・ 男子高校生は、女子高校生に比べ市内就職の割合が高い
- 就職期における転出超過の継続
 - ・ 20代前半で転出が増加傾向、20代後半以降で外から呼び込む力が低下
 - ・ 就職したい業種や職種が地元がない
 - ・ 転出理由は「仕事」「結婚・離婚」が多い
- 未婚率の上昇
 - ・ 特に25歳～34歳の未婚率が上昇
 - ・ 未婚者の多くは結婚に前向きだが、適当な相手とめぐり合えていない。
- 出生数の減少
 - ・ 2012年以降、自然減が継続
 - ・ 出生数が4,000人を下回る
 - ・ 10代～30代の若い女性の転出超過の継続
 - ・ 5割の女性が結婚や出産を機に退職
 - ・ ひとり親家庭のうち7割が生活困難層
- 若年層で高い移住意識
 - ・ 20代、30代で移住の経験や検討している割合が高い
- 外国人の数が近年増加

政策ターゲット（ペルソナ）
の設定

人口減少対策を
3つの社会増減のターニングポイントと
4つのライフスタイルで捉える

ターニング
ポイント

進学

就職

移住

ライフ
スタイル

未婚

共働き
(子どもあり)

共働き
(子どもなし)

シングル

9つのペルソナ
を設定

「ペルソナ」とは、サービスを利用する象徴的なユーザー像のこと

3 9つのペルソナと推進体制

9つのペルソナ

- 人口減少対策を3つのターニングポイントと4つのライフスタイルで捉え、9つのペルソナを設定します。
- 特に人口増減に影響のある4つのペルソナに重点的に取り組みます。



ターニングポイント (社会増減) 進学 就職 移住

ライフスタイル 未婚 共働き(子どもあり) 共働き(子どもなし) シングル

推進体制

- 産学官で役割を分担し、人口減少対策のための取組を企画・実行する組織として「みんなのライフスタイル応援会議」を設置し、オール福山で人口減少対策に取り組んでいます。
- 新たな施策構築や取組の強化に向け、子ども未来づくり100人委員会での意見を反映するとともに、高度専門人材や市外大学等の外部有識者などとも連携します。

産学官で構成

みんなのライフスタイル応援会議

企画提案・実行
市内企業等に取組の輪を拡大

子ども未来づくり100人委員会

子育て世帯等の意見を聴取

外部有識者

アクションプランの作成や
新たな施策構築等への助言

(1) 子ども・子育て世代を支える「こどもまんなか社会」の実現

1 少子化対策の拡充

① 出会いと結婚を希望する人へのサポート

- 出会いの場創出事業
- ふくやまカップル・新婚応援パスポート事業

② 若い世代の働き方改革

- グリーンなものづくり企業プラットフォームによる働きやすい職場環境づくりの促進（再掲）

③ 経済的負担の軽減

- 不妊治療費の助成

2 子育て支援の充実

① 出産・子育てにかかる費用の軽減

- 第2子以降の保育料無償化
- 多胎妊娠の妊婦健診支援

② 保育サービスの充実と医療提供体制の確保

- 保育所等の広域利用
- こども発達支援センターに児童精神科・精神科を開設

③ 子どもと楽しめる場所等の創出

- 誰もが楽しめる公園づくり

④ 仕事と子育ての両立支援

- 子育て応援ウィーク

⑤ 気軽に相談できる環境づくり

- ネウボラ相談窓口等の改修

3 子どもの学びの充実

① 体験による学び

- 子ども未来館プロジェクトの推進
- 子どもの芸術文化体験プロジェクトの充実

② 高度専門人材の育成

- 福山市立大学の情報工学系学部の設置に向けた取組（再掲）

子育て世帯等の意見の反映

- 子ども未来づくり100人委員会の運営



(2) 未来を支える若者支援

1 働きやすい職場環境整備

- ④グリーンなものづくり企業プラットフォームによる働きやすい職場環境づくりの促進
- 従業員の奨学金返済支援にかかる経費への補助

2 若者と地元企業との接点の充実

- ④学生や社会人のインターンシップ受入れ促進
- 地元企業・職業説明会（福山地方雇用対策協議会）
- グローカル人材育成事業
- ④女子大学生と企業の女性従業員との交流イベント



3 女性の活躍推進

- ④女子大学生と企業の女性従業員との交流イベント（再掲）
- 女性の就業環境改善に対する補助

4 進学の実機の充実

- ④福山市立大学の情報工学系学部の設置に向けた取組

5 学生への地元企業情報の発信

- ④採用活動デジタル化支援事業費補助
- 就職情報サイト（KOYO-HUB）の運営（福山地方雇用対策協議会）
- SNSを活用した市内就職情報の発信



5 ロードマップ

全体指標

「合計特殊出生率（1.60（2019年））
と市民希望出生率（1.90※）の差を縮める」

※市民希望出生率は、「福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート調査（2020年3月実施）」で得られた18歳～39歳の市民の結婚・出産に対する意識から算出

2018～

- 強化策の提示
- ペルソナごとの施策立案
- 一部試行実施

- 一部試行実施
- 強化策提示

2019～2021

- アクションプランの推進（3か年）
- ペルソナごとの効果検証（PDCA）
- コロナ感染拡大やAI未来予測等による見直し

- アクションプランの推進
- 応援会議の立ち上げ

- アクションプランの見直し・推進
- AI未来予測等による再構築

- アクションプランの見直し・推進
- ペルソナごとの効果検証

2022～2025

- ペルソナの再設定
- アクションプランの推進（4か年）
- ペルソナごとの効果検証（PDCA）

- アクションプランの見直し・推進

- アクションプランの見直し・推進
- ネウボラの強化（第2ステージ）

- アクションプランの改訂・推進
- ペルソナの再設定

2018.9

2019

2020

2021

2022

2025

事業計画作成

基盤づくり・新型コロナ対策の強化
（子育て環境の充実・関係人口創出・産業のデジタル化）

満足度の高い子育てと働き方の実現
（子どもが健やかに成長できる環境の充実・男性の育児参加促進・希望の働き方ができる環境づくり）

- ・ネウボラ相談窓口「あのね」の拡充
- ・経済的負担の軽減（こども医療費助成の拡充など）
- ・ワーケーション、兼業・副業人材の活用
- ・中小企業のデジタル化支援
- ・小児救急医療拠点病院の指定 など

- ・経済的負担の軽減（第2子以降の保育料無償化、不妊治療費助成の拡充など）
- ・子どもの芸術文化体験プロジェクトの充実
- ・グリーンなものづくり企業プラットフォームの運営
- ・福山市立大学の学部新設 など

Ⅲ 2024年度（令和6年度）のペルソナごとの取組

記載方法等

- 新規事業は、事業名の先頭に「新」を記載
- 官民で連携して実施している事業は、事業名の末尾に「官民連携」を記載

ペルソナ①

進学期
【高校生】

福山で暮らす “未来を描く”

市外大学等への進学を考えている **高校3年生の女子**



広島市や岡山市など近隣の地方都市か関西圏の大学へ進学したい。
将来戻るかはわからない。

福山駅周辺に友達と遊んだり買い物できる場所が少ない。

学びたい学部があれば地元進学もいいと考えている。

年齢：18歳

性別：女性（未婚）

職業等：高校生（大学受験を控えている）

子ども：なし

住まい：福山市に在住（実家）

※詳細は32～33ページ

キャリアデザイン×ライフデザインの構築支援

○ 看護職員出前授業促進事業

官民連携

- ▶ 高校生等に対し、看護職の魅力伝えるため、看護職員の出前講座を実施

○ 若者人材育成等支援事業（出前講座）

- ▶ 高校生等に対し、職業観の醸成や地元企業の認知度向上につながる講座を実施

○ 福山夢・未来開花プロジェクト

- ▶ 高校生等へ福山の未来づくりや夢の実現に向けてチャレンジする機会を提供

福山駅周辺のにぎわい創出

○ ウォークブル推進事業

官民連携

- ▶ 福山駅前広場整備基本計画を策定し、交通結節機能と都市の広場機能が融合するウォークブルな空間づくりを推進

進学先の選択肢の充実

○ 福山市立大学の学部新設

- ▶ 情報工学系学部の設置に向けた取組

○ 未来創生人材育成奨学資金

官民連携

- ▶ デジタル人材・看護師・保育士・グローバル人材をめざす学生に対し、市内就職を条件に金融機関と連携した奨学ローンの返済費用を補助

○ 市外大学等への通学支援事業

官民連携

（未来創生人材育成奨学ローン返済補助）

- ▶ 市外の大学等に進学する学生に対し、市内就職を条件に金融機関と連携した奨学ローン（通学費用）の返済費用を補助

ペルソナ②

進学期
【高校生】

福山で働く・暮らす “未来を描く”

地元企業への就職を予定している **高校3年生の男子**



仕事は、デスクワークより体を動かす職場が希望。
市内の製造業に就職したい。

でも、市内で、安心して働き続けることができる企業についての
知識がなくて不安。

年 齢：18歳
性 別：男性（未婚）
職業等：高校生（就職希望）

子ども：なし
住まい：福山市に在住（実家）

※詳細は32～33ページ

市内企業の認知度向上・職業観の醸成

○ 高校生向けの企業・職業説明会

- 高校生を対象とした企業・職業説明会の開催

○ 企業と学校の交流会

- 地元企業への理解を深めるため、高校・大学等の就職担当者と企業の交流会を実施

○ ゲンバ男子

- 製造業の現場で働く若者を専用サイトを通じて紹介し、製造業界における若者の人材確保・イメージアップを促進

○ グローカル人材育成事業

- 地元企業と連携した探究活動を通して、地元企業の認知度を高めるとともに、国内外の学校との交流を通じて、グローバルな視点やコミュニケーション能力を養う



【高校生向けの企業・職業説明会】



【グローバル人材育成事業】

ペルソナ③

就職期
【大学生】

学生が企業の “理解を深める”

福山で就職するかどうか悩んでいる 大学3年生



福山で就職するかどうか悩んでいる。地元企業のこともわからなくて不安。

自分のやりたい仕事ができる職場や福利厚生がしっかりしている職場で働きたいな。

福山駅周辺の魅力が高まり、にぎわいが増えるといいな。

年齢：21歳
性別：男女（未婚）
職業等：大学生（就職活動中）

子ども：なし
住まい：通学している大学の近隣
（賃貸住宅）

※詳細は34～35ページ

市内企業とのマッチング強化

○ 採用活動デジタル化支援事業費補助

- ▶ 企業の採用Webページや採用活動PR動画などの制作経費への補助

○ オンライン就職合同企業説明会

○ 女子大学生と企業の女性従業員との交流イベント

- ▶ 企業の若手女性従業員と市内女子大学生とが就職観・仕事観・ライフスタイル観について交流

福山駅周辺のにぎわい創出

官民連携

○ 福山市商店街活力向上事業補助金

- ▶ 商店街の賑わい創出イベントやおもてなし環境整備に必要な費用の補助

地元就職の魅力向上

○ グリーンなものづくり企業プラットフォームによる働きやすい職場環境づくりの促進

- ▶ グリーンなものづくり企業のためのITツール導入経費補助
- ▶ グリーンなものづくり企業プラットフォームの運営やシンポジウムの開催による機運醸成

○ 中小企業等に対するICT化支援の実施

○ SNSを活用した市内就職情報の発信

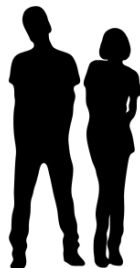


ペルソナ④

結婚・子育て期 【未婚男女（結婚希望）】

出会い・結婚へ つながる支援

将来結婚を希望している25～39歳 **未婚男女**



結婚を考えたけれど、なかなかいい出会いがない。

結婚後、仕事と家事・育児を両立できるか不安。

年齢：30歳
性別：男女（未婚）
職業等：会社員

子ども：なし
住まい：福山市に在住

※詳細は36～39ページ

出会いと結婚をサポートする体制づくり

○ 出会いの場創出事業

- ▶ 民間事業者のノウハウを活用し、結婚を希望している人の出会いの機会を創出

○ ふくやまカップル・新婚応援パスポート事業

- ▶ 市内の協賛店で特典サービスを受けられるパスポートを発行し、市全体で結婚を応援する機運を醸成

若い世代の働き方改革

○ グリーンなものづくり企業プラットフォーム による働きやすい職場環境づくりの促進（再掲）

○ ふくやまワーク・ライフ・バランス認定

- ▶ 仕事と家庭が両立できる職場環境づくりに向けて、企業への周知啓発を実施



ペルソナ⑤

結婚・子育て期 【共働き女性】

子どもの成長に “幸せ”を感じる

3人目を考えている25～39歳 子育て共働き女性



3人目を考えているけど、経済面の不安だけでなく、夫の育児参加にも不満。

夫の会社に休暇制度はあるけど、子どもの体調不良などで休むのはいつも私。

近くに家族で楽しめる場所があるといいな。

年齢：38歳
性別：女性（既婚）
職業等：会社員

子ども：2人（幼児（保育所））
住まい：福山市に在住

※詳細は36～39ページ

子育てにかかる費用の軽減

- ④第2子以降の保育料無償化
- ④1か月児の健康診査費用の助成の拡充

保育サービスの充実と医療提供体制の充実

- ④保育所等の広域利用
 - 備後圏域内における保育所等の広域利用について要件を緩和
- ④（仮称）こども誰でも通園事業費補助
 - 市内在住の保育所や認定こども園等に通っていない0歳6か月～満3歳未満の児童に対して、月に上限10時間の定期的な預かりを実施

こども発達支援センターの運営

- ④児童精神科・精神科の開設

気軽に相談できる環境づくり

- ④ニューボラ相談窓口等の改修

仕事と子育ての両立支援

- ④子育て応援ウィーク
 - 共働き・共育てに対する意識を高め、子育てを社会全体で応援する機運を醸成
- ④男性の育児休業等の取得促進強化
 - 男性育児休業取得率50%を達成した企業等に奨励金を支給

子どもと楽しめる場所等の創出

- ④誰もが楽しめる公園づくり
 - 公園利用ニーズに対応した魅力ある公園づくりを推進するため、「（仮称）福山市公園整備基本方針」を策定

ペルソナ⑥

結婚・子育て期

【共働き夫婦（子どもが欲しい）】

妊娠・出産・子育ての “不安解消”

妊娠を希望している25～39歳 共働き夫婦



結婚して3年。そろそろ子どもがほしいが、経済面で不安。

不妊治療にも行きたいけど、仕事との両立が難しい。

年齢：31歳
性別：男女（既婚）
職業等：会社員

子ども：なし
住まい：福山市に在住

※詳細は36～39ページ

妊娠・出産にかかる負担の軽減

○ 不妊治療費・不育症治療費の助成

- 医療機関における不妊治療や不育症治療に係る自己負担額を一部助成し、妊娠を希望する夫婦の経済的負担を軽減

○ 多胎妊娠の妊婦健診支援

- 多胎を妊娠している妊婦一人につき健診費用の一部を5回まで補助



仕事と妊娠の両立支援

○ 緑なものづくり企業プラットフォームによる働きやすい職場環境づくりの促進（再掲）

○ ふくやまワーク・ライフ・バランス認定

- 仕事と家庭が両立できる職場環境づくりに向けて、企業への周知啓発を実施

○ 女性の就業環境改善に対する補助

- 女性専用のトイレ、更衣室、シャワールーム、仮眠室の整備など、女性の就業環境の改善を行う企業に対する補助

ペルソナ⑦

結婚・子育て期 【シングルマザー】

“社会”で 子育てをサポート

二人の子どもを育てている25～39歳 シングルマザー



子育てや教育にお金がかかるので、経済的に不安。

頼れる人や気軽に相談できる人が近くにいたらいいな。

子育てとの両立がしやすい、柔軟な働き方ができる職場で働きたい。

年齢：30歳

性別：女性（未婚（離婚））

職業等：会社員

子ども：2人（小学生・幼児（保育所））

住まい：福山市に在住（賃貸住宅）

※詳細は36～39ページ

子育て・教育に関する支援

○ ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援

- 高等学校・大学等の進学に向けた学習支援や進路相談、生活指導などの実施

○ 受験料等支援事業費補助

- 経済的課題を抱えるひとり親家庭の子どもに対して受験料及び模試費用を補助

○ 就学援助

- 経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒に、就学に必要な費用を援助

○ 居場所づくり支援事業

- 子ども食堂などの開設・運営に係る経費及び子どもの見守りに係る費用を支援

働く・暮らすことに関する支援

○ ひとり親家庭自立支援事業

- 就労支援、高等学校卒業程度認定試験の合格支援や高等技能の資格取得への支援

保育サービスの充実

○ 病児・病後児保育事業（非施設型）

- 自宅等における病児・病後児を対象としたベビーシッター派遣



移住 【地方関心未婚男女】

福山で働く・暮らす “体験の場”を提供

地方での「働く・暮らす」に関心がある25～39歳 **未婚の会社員**



住む場所に制限されない働き方を実現したいが、なかなか一歩が踏み出せない。

地方への関心が高まっているが、地域の人や地元企業との関わりがなく、暮らしや働き方のイメージが湧かない。

年齢：30歳
性別：男女（未婚）

職業等：会社員（クリエイティブ（IT・デザイン）系）
子ども：なし
住まい：首都圏・関西圏に在住（賃貸住宅）

※詳細は40～41ページ

地域・企業とのつながりの創出

○ ワークेशन推進事業（ワークेशनふくやま）

- 備後圏域外の企業や人材が、福山市の魅力や課題を発見し、地域の活性化や市内企業の経営課題解決に取り組む
- 医療版ワークेशनの実施

○ 兼業・副業人材の活用

官民連携

- 兼業・副業人材の活用に関するシンポジウム・交流会等の実施
- 備後圏域内企業と兼業・副業人材とのマッチングにより、企業の経営課題解決・経営の高度化を支援

○ 保育士インターンシップ実証事業

- 地方で暮らし、働くことに関心を持つ都市部在住の潜在保育士等を対象に、市内の保育施設での職場体験や備後圏域の魅力に触れる機会を提供

○ 人材確保支援事業費補助

- 都市圏の転職希望者を対象に、市内企業における実地又はWEBを通じたインターンのマッチングを行う



【ワークेशनの推進】

移住 【移住希望既婚男女】

移住者が “暮らしたい”まち

一家で移住を考えている25~39歳 **既婚の会社員**



自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

関西圏など都市部の企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で生かしたい。

年齢：37歳
性別：男女（既婚）
職業等：会社員

子ども：2人（幼児（保育所）・乳幼児）
住まい：備後圏域出身（Uターン希望）
関西圏等に在住（賃貸住宅）

※詳細は40~41ページ

子育て・教育・生活環境の充実

○ 多様な学びの場の充実

- ▶ 常石ともに学園（イエナプラン教育校）や広瀬学園（特認校）などの運営

移住後の生活スタイルを支援

○ 地域おこし協力隊による情報発信

- ▶ オンラインコミュニティ等による本市の魅力発信と移住促進

○ 空き家リノベーション促進事業

- ▶ 市内の空き家を購入・賃貸しリノベーション工事をする移住者・市内の子育て世帯を対象に費用の一部を補助

移住促進策の強化

○ 移住支援事業費補助

- ▶ 東京23区に在住又は通勤者が、福山市に移住した場合に支援金を支給
- ▶ テレワークで移住前の業務を引き続き行う者、ひろしまワークス掲載の市内企業へ就職する者、市内で起業し県による起業支援金の交付決定を受けた者が対象



【イエナプラン教育校の運営】



【首都圏移住フェアでの移住相談】

2 成果目標

ペルソナ	2025年度 成果目標	実績値（最新）
ペルソナ① 高3進学女子	○将来、福山市に戻ってきたいと思う高3進学女性の割合：60.0% ○高校3年生の市内企業の認知度：60.0%	48.5%（2021年度） 47.3%（2021年度）
ペルソナ② 高3就職男子	○高校生の地元就職率：75.0%	65.7%（2022年度）
ペルソナ③ 就活大学生	○20歳～24歳の男女転出入数：±0人	465人転出超過（2023年）
ペルソナ④ 未婚男女（結婚希望）	○婚姻件数の維持：1,951件	1,951件（2022年）
ペルソナ⑤ 子育て共働き女性	○子どもの成長に幸せを感じる共働き女性の割合：100.0% ○自分の時間が持てると回答した女性の割合：100.0% ○男性の育児休業取得率：30.0%	100.0%（2021年度） 73.3%（2023年度） 10.2%（2022年度）
ペルソナ⑥ 共働き夫婦（子どもが欲しい）	○（ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者のうち） 女性従業員の妊娠に対する配慮を行っている企業の数：65社	46社（2022年度）
ペルソナ⑦ シングルマザー	○児童扶養手当受給者における全部支給者の割合：50.0%	54.6%（2024年2月末）
ペルソナ⑧ 地方関心未婚男女	○25歳～39歳の男女転出入数：50人転入超過	292人転出超過（2023年）
ペルソナ⑨ 移住希望既婚男女	○福山市への移住意向：20.0%	14.2%（2019年）

3 施策一覧

ベルソナ					分類	事業名等	2024年度予算額 (単位：千円)	担当部署
①	②	⑤				若者人材育成等支援事業（出前講座）	629	産業振興課
①	③					市外大学等への通学支援事業（未来創生人材育成奨学ローン返済補助）	439	企画政策課
①	③					未来創生人材育成奨学資金	1,510	学事課
①	③				新規	中央公園官民連携推進事業	6,830	公園緑地課
①	②					看護職員出前授業促進事業	324	保健部総務課
①	②					福山夢・未来開花プロジェクト	2,992	若者・くらしの悩み相談課
①					新規	福山市立大学の情報工学系学部の設置に向けた取組	6,400	総務部総務課
②						高校生向けの企業・職業説明会	506	産業振興課
②	①					グローバル人材育成事業	1,727	福山中・高等学校
②						ゲンバ男子	-	産業振興課
③	④	⑤	⑥	⑦		ふくやまワーク・ライフ・バランス認定	-	産業振興課
③						就職支援サイト（就活ふくやま）	478	産業振興課
③	②				拡充	福山地方雇用対策協議会事業 （就職情報サイト（KOYO-HUB）の運営，企業と学校の交流会，オンライン就職合同企業説明会など）	8,700	産業振興課
③						看護職員確保対策事業（看護学生地元就職支援セミナー）	2,918	保健部総務課
③	①	②				看護学生支援金事業	1,500	保健部総務課
③	①					福山駅前デザイン会議等の運営	22,399	福山駅周辺再生推進課
③	①					ウォークブル推進事業	65,222	福山駅周辺再生推進課ほか
③	①					福山市商店街活力向上事業補助金	11,621	産業振興課
③	②	④	⑤	⑥	新規	グリーンなものづくり企業プラットフォームによる働きやすい職場環境づくりの促進	23,621	産業振興課
③	⑨					びんご圏域プロモーション事業	4,460	企画政策課
③						SNSを活用した市内就職情報の発信	-	産業振興課
③						中小企業のデジタル化支援（ものづくり大学）	2,200	産業振興課
③						びんごAI講座（ものづくり大学）	690	産業振興課
③	④	⑤	⑦		拡充	中小企業等に対するICT化支援の実施	50,000	デジタル化推進課ほか
③					新規	採用活動デジタル化支援事業費補助	10,000	産業振興課

ペルソナ					分類	事業名等	2024年度予算額 (単位：千円)	担当部署
③					新規	女子大学生と企業の女性従業員との交流イベント	1,320	産業振興課
③					新規	新たな産業用地の創出	27,699	経済総務課
③						奨学金返済支援事業費補助	3,600	産業振興課
③						中小企業等SDGs推進事業費補助	5,021	産業振興課
④					新規	出会いの場創出事業	1,750	子ども企画課
④					新規	ふくやまカップル・新婚応援パスポート事業	150	子ども企画課
⑤	④				新規	社会人看護学生支援金	14,000	保健部総務課
⑤	⑥				新規	仕事と子育ての両立に関するセミナー	1,265	産業振興課
⑤	⑥	⑦	⑨			子育て支援情報の発信（アプリ，HP）	660	ネウボラ推進課
⑤	⑦					オンライン相談	-	ネウボラ推進課
⑤	⑦					地域子育て支援拠点事業	184,848	保育施設課ほか
⑤	⑥					子育て応援プレゼント事業	11,550	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦	⑨			出産・子育て応援事業	332,600	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦				子育て世代FP相談会	264	ネウボラ推進課
⑤						産後ケア事業	8,601	ネウボラ推進課
⑤	⑦				新規	児童短期保護事業	773	ネウボラ推進課
⑤						産婦健康診査	26,424	ネウボラ推進課
⑤	⑥				拡充	男性育児休業取得促進事業費	5,600	産業振興課
⑤	⑥					こんにちは赤ちゃん訪問事業	8,453	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦	⑨			保健福祉分野における都市イメージの向上	3,500	福祉総務課
⑤	⑥	⑦	⑨		新規	こども計画策定等事業	10,000	子ども企画課
⑤	③	⑦			新規	保育士等就労支援事業費補助	16,300	保育施設課
⑤					拡充	児童手当の拡充	1,101,000	ネウボラ推進課
⑤	⑦				拡充	こども発達支援センターの運営	170,087	こども発達支援センター
⑤	⑦					こども発達支援センターオンライン診療	298	こども発達支援センター
⑤	⑦	⑨				ファミリー・サポート・センター事業	10,348	ネウボラ推進課
⑤	⑦	⑨				ネウボラ運営事業	95,698	ネウボラ推進課
⑤	④	⑥	⑦	⑨	新規	子ども未来づくり100人委員会の運営	12,000	子ども企画課

ペルソナ					分類	事業名等	2024年度予算額 (単位：千円)	担当部署
⑤	⑦	⑨			新規	ネウボラ相談窓口等の改修	15,000	ネウボラ推進課
⑤	⑦					子どもの医療費助成	821,690	ネウボラ推進課
⑤	⑦					休日保育支援事業	4,698	保育施設課
⑤	⑦				拡充	保育補助者雇上強化事業	151,970	保育施設課
⑤	⑦					住居借上支援事業	400	保育施設課
⑤	⑦					公立保育所保育士の確保	-	保育指導課
⑤	⑦				新規	就学前教育・保育施設の再整備	23,000	保育施設課
⑤	⑦					保育体制強化事業	57,420	保育施設課
⑤	⑦					保育士等復職支援事業	2,757	保育施設課
⑤	⑦					入所制度の充実	-	保育施設課
⑤	⑦					医療的ケア児保育支援事業	45,511	保育施設課ほか
⑤	⑦				拡充	スマート保育の推進	53,341 <small>※うち国の補正予算に伴う 前倒し19,725千円</small>	保育指導課ほか
⑤	⑦					臓器移植等を行う小児慢性特定疾病児童等に係る交通費等補助（小児慢性特定疾病交通費補助）	200	保健予防課
⑤	⑦				新規	保育所等の広域利用	-	保育施設課
⑤	⑦					保育施設等給食材料費高騰対策事業	162,100	保育施設課
⑤	⑦				新規	（仮称）こども誰でも通園事業費補助	41,004	保育施設課
⑤	⑦				拡充	乳幼児一般健診の拡充	22,035 <small>※うち国の補正予算に伴う 前倒し22,035千円</small>	ネウボラ推進課
⑤	⑦				拡充	幼児等インフルエンザ予防接種費補助	32,800	保健予防課
⑤	⑦				新規	医療的ケア児の通学支援事業	2,463	障がい福祉課
⑤	⑦					学校給食運営費負担金	166,000	学校保健課
⑤	⑥	⑦			新規	第2子以降の保育料無償化	182,330	保育施設課
⑤	⑥				新規	子育て応援ウィーク	2,250	ネウボラ推進課ほか
⑤	⑥					びんまる男性育休記事	-	産業振興課
⑤	⑥					夢みるパパとママの会、男性育児講座	-	ネウボラ推進課ほか

ベルソナ					分類	事業名等	2024年度予算額 (単位：千円)	担当部署
⑤	⑦					えほんの国運営事業	19,663	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦				都市公園の整備	97,360	公園緑地課
⑤	⑥	⑦			新規	誰もが楽しめる公園づくり（（仮称）公園整備基本方針の策定）	6,500	公園緑地課
⑤	⑥	⑦			新規	芦田川緑地かわまち広場整備事業	31,000	公園緑地課
⑤	⑥	⑦				子ども未来館プロジェクトの推進	11,560	企画政策課
⑤	⑥	⑦	⑨			びんごキッズラボ	8,500	企画政策課
⑥	⑤				拡充	不妊治療費の助成	46,281	健康推進課
⑥	⑤					不育症治療費の助成	3,159	健康推進課
⑥	⑤				拡充	多胎妊娠の妊婦健診支援	1,265	ネウボラ推進課
⑥	⑤					風しん抗体検査事業	2,329	保健予防課
⑥	③	④	⑤	⑦	拡充	女性の就業環境改善に対する補助	7,000	産業振興課
⑥	⑤	⑦				小児救急医療の提供	-	市民病院医事課
⑥	⑤	⑦				周産期医療寄付講座	10,039	保健部総務課
⑥	⑤	⑦				小児急性疾患寄付講座	11,317	保健部総務課
⑥	⑤					女性活躍推進事業	-	産業振興課
⑦	⑤					子育て世帯向け市営住宅改修事業	28,700	住宅課
⑦						就学援助	-	学事課
⑦						ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援	62,378	ネウボラ推進課
⑦	⑤				新規	居場所づくり支援事業	7,740	ネウボラ推進課
⑦					拡充	児童扶養手当の拡充	172,310	ネウボラ推進課
⑦					拡充	受験料等支援事業費補助	5,360	ネウボラ推進課
⑦	⑤				拡充	放課後児童クラブの運営	43,050	保育施設課
⑦	⑤					放課後児童クラブの無線通信整備	3,644	保育施設課
⑦	⑤					地域学習活動支援事業（放課後チャレンジ教室）	8,663	学びづくり課
⑦	⑤					病児・病後児保育事業	39,572	保育施設課
⑦	⑤					病児・病後児保育事業（非施設型）	7,000	保育施設課
⑦						ひとり親家庭自立支援事業	80,306	ネウボラ推進課
⑦	⑤					子ども家庭総合支援拠点事業	89,156	ネウボラ推進課
⑦						低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業	2,000	ネウボラ推進課

ベルソナ					分類	事業名等	2024年度予算額 (単位：千円)	担当部署
⑧						ワーケーション推進事業（ワーケーションふくやま）	6,285	企画政策課
⑧						AIビジネスキャンプ	7,000	デジタル化推進課
⑧	④	⑤	⑦			医療版ワーケーションの実施	3,000	保健部総務課
⑧	⑨					兼業・副業人材の活用	7,251	産業振興課
⑧	⑨					高度専門人材の活用	630	企画政策課
⑧	⑨					高度専門人材の活用（びんご兼業・副業人材）	4,000	企画政策課
⑧	⑨					人材確保支援事業費補助	1,500	産業振興課
⑧	⑨				新規	保育士インターンシップ実証事業	2,390	保育施設課
⑨						小学校「学びづくりフロンティア校」事業	454	学事課
⑨						中学校「教科の専門性パワーアップ」事業	397	学事課
⑨						学力の伸びを把握する調査	0	学びづくり課
⑨						小中一貫教育推進事業	243,253	学びづくり課
⑨						子どもの芸術文化体験プロジェクトの充実（芸術文化体験事業）	5,300	学びづくり課
⑨					新規	子どもの芸術文化体験プロジェクトの充実（オーケストラ福山定期）	76,900	文化振興課
⑨						公共及び民間のプール施設を活用した水泳授業の実施	55,030	学びづくり課
⑨						学校図書館環境の充実	-	学びづくり課
⑨						多様な学び場の充実（イエナプラン教育の実践）	753	学事課
⑨						多様な学び場の充実（特認校の運営）	-	学事課
⑨						多様な学び場の充実（義務教育学校の整備）	561,595	学校再編推進室
⑨						福山中・高等学校部活動の環境整備	8,700	福山中・高等学校
⑨					拡充	地域とともにある学校づくり推進校事業	2,096	学事課
⑨					新規	日本語指導の充実	132	学びづくり課
⑨					新規	プログラミング教材購入費	1,500	学びづくり課
⑨	⑧				新規	空き家リノベーション促進事業	17,000	住宅課
⑨						GIGAスクール事業（学習端末用の通信回線等）	61,780	教育総務課ほか
⑨						地域おこし協力隊による情報発信	10,522	まちづくり推進課
⑨	⑧					移住支援事業費補助	5,000	産業振興課・企画政策課

IV 参考 – ライフステージごとの分析 –

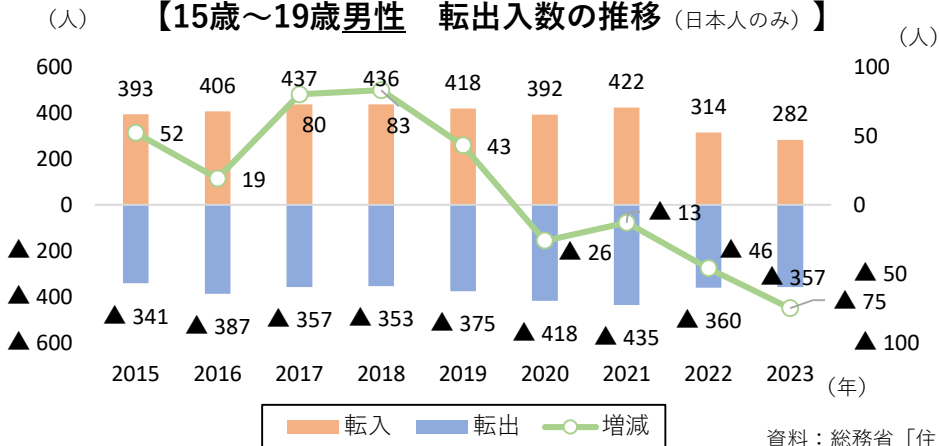
1 ライフステージごとの分析とペルソナ設定

10歳代後半・進学期

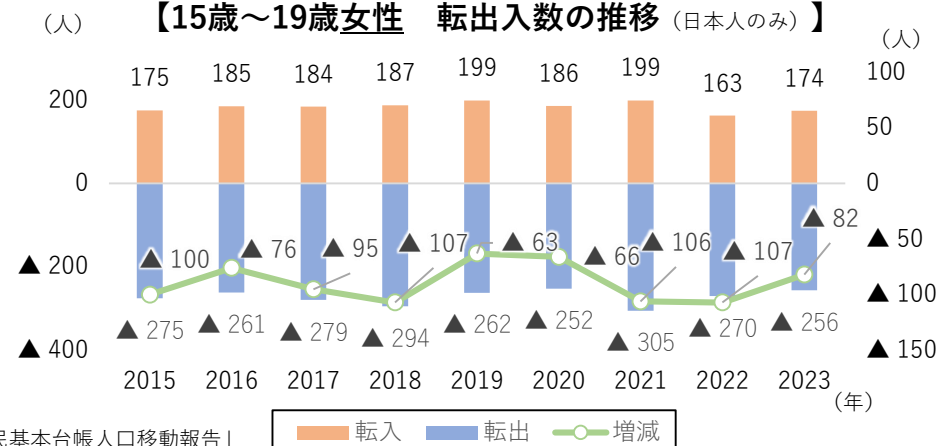
人口関連データ

- 男性は転入超過傾向でしたが、2020年（令和2年）から転出超過に転じています。女性は転出超過が継続しています。
- 大学等へ進学するタイミングで人口が減少しています。

【15歳～19歳男性 転出入数の推移（日本人のみ）】



【15歳～19歳女性 転出入数の推移（日本人のみ）】



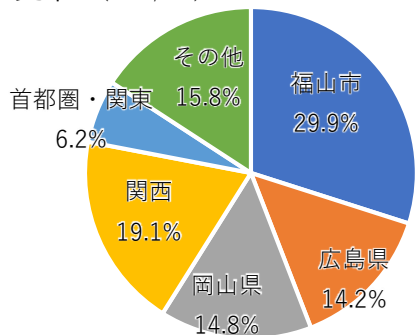
資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

意識関連データ

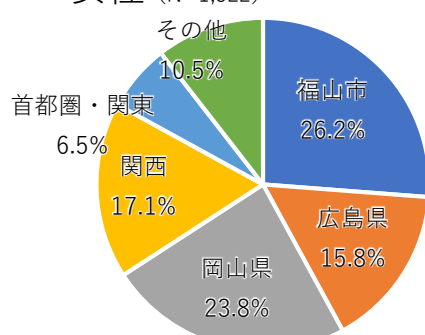
- 男女ともに進学者の約7割が市外に進学しており、将来地元に戻りたいと思わない人・わからない人が合わせて約5割います。
- 戻りたくない理由として、就職したい業種・職種がないことや遊ぶ場所が少ないことが多くなっています。女性では特に買い物をしたいお店が少ないことをあげる人が多くなっています。
- 希望する業種は、男性では製造業が、女性では医療・福祉が最も多くなっています。

【高校生の進学状況（SA）】

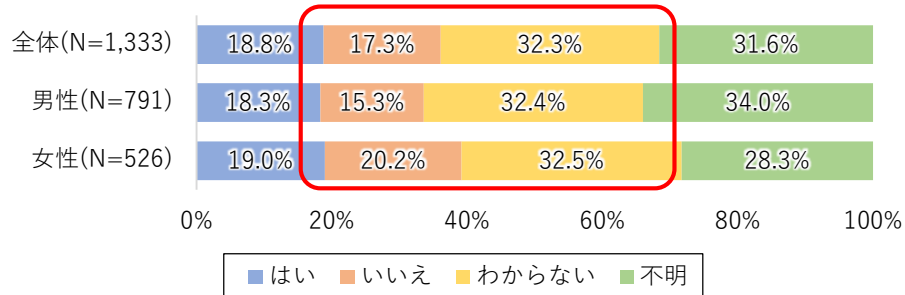
男性 (N=1,410)



女性 (N=1,522)



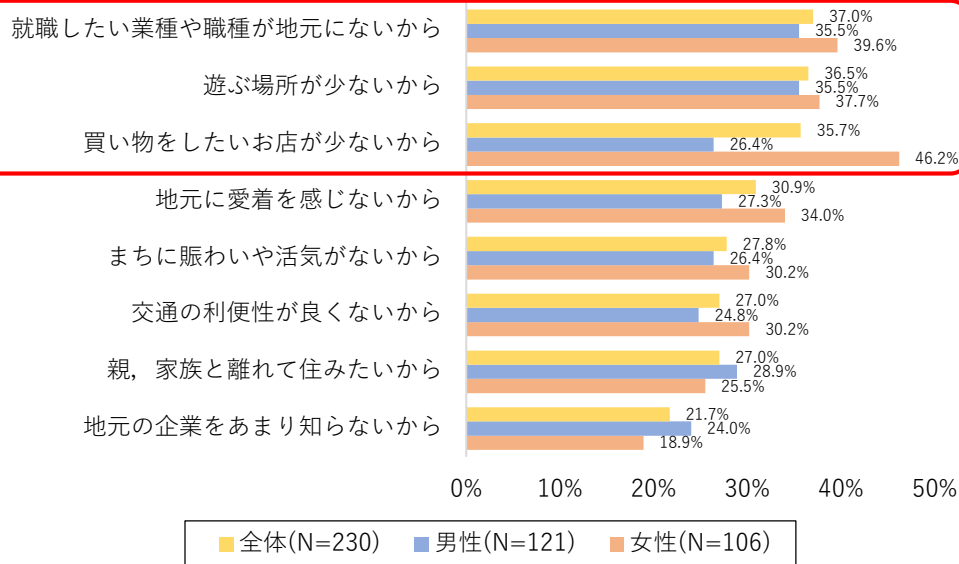
【将来、住んでいる市・町に戻ってきたいと思うか（SA）】



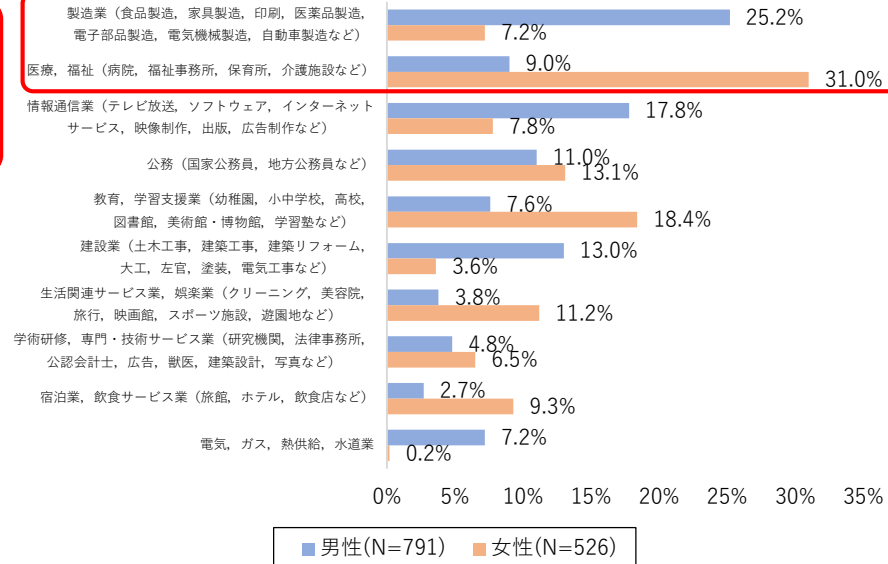
資料：福山市「高校生進学先調査」（2023年8月）

資料：福山市「若者（高校生）の定住志向に関するアンケート調査」（2020年7月）
※性別で「その他」「不明」の回答者がいるため、男女の計が全体と一致しない。

【将来、戻ってきたいと思わない理由 (MA)】



【将来、働きたい業種 (上位10項目) (MA)】



資料：福山市「若者（高校生）の定住志向に関するアンケート調査」（2020年7月）
※性別で「その他」「不明」の回答者がいるため、男女の計が全体と一致しない。

【高校生の声】

- ・ カフェや勉強などができるフリースペースや、大型の商業施設など買い物を楽しめる場所がほしい。
- ・ 新型コロナにより、1人暮らしから通学を考えるようになった。

資料：福山市「福山駅前広場に関するアンケート調査」（2021年12月）、福山市「高校卒業後に関するアンケート調査」（2021年4月）

ペルソナ設定

① 市外大学等への進学を考えている 高校3年生の女子



広島市や岡山市など近隣の地方都市か関西圏の大学へ進学したい。将来戻るかはやわからない。

福山駅周辺に友達と遊んだり買い物できる場所が少ない。

学びたい学部があれば地元進学もいいと考えている。

② 地元企業への就職を予定している 高校3年生の男子



仕事は、デスクワークより体を動かす職場が希望。市内の製造業に就職したい。

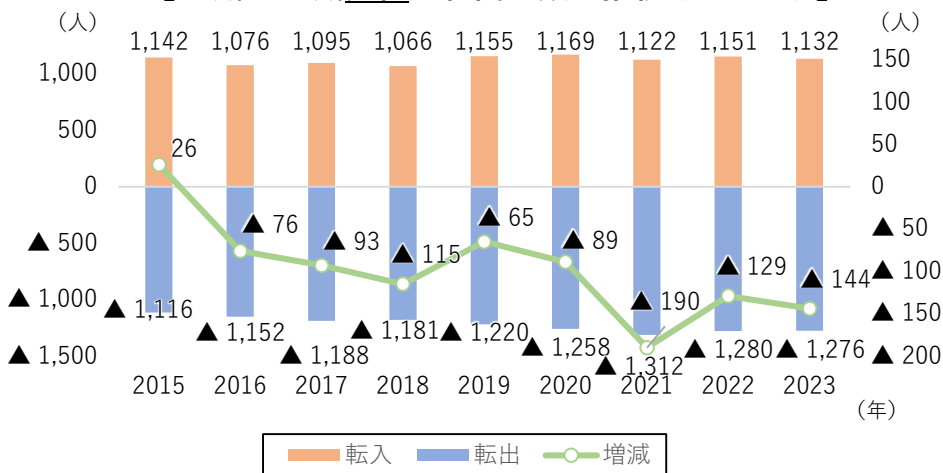
でも、市内で、安心して働き続けることができる企業についての知識がなくて不安。

20歳代前半・就職期

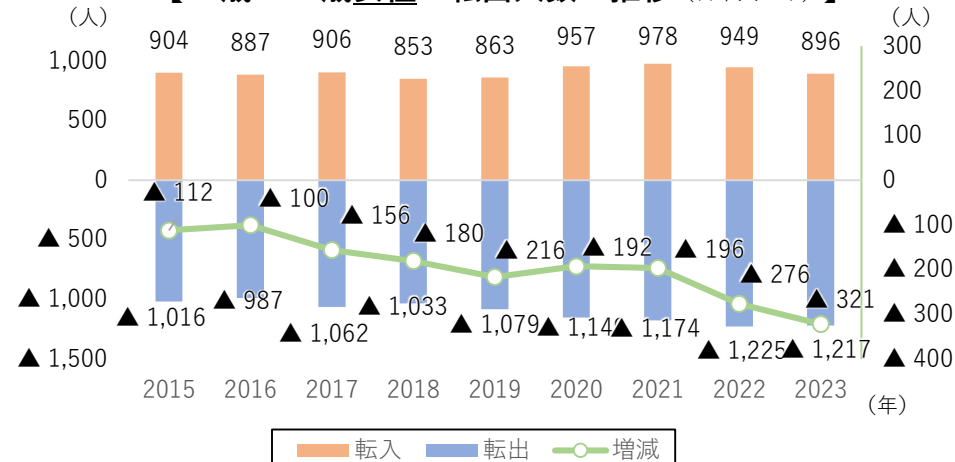
人口関連データ

- 20歳～24歳では、男女とも転出超過が継続しており、特に女性の転出超過が拡大傾向にあります。
- 就職等のタイミングで人口が大きく減少しています。

【20歳～24歳男性 転出入数の推移（日本人のみ）】



【20歳～24歳女性 転出入数の推移（日本人のみ）】

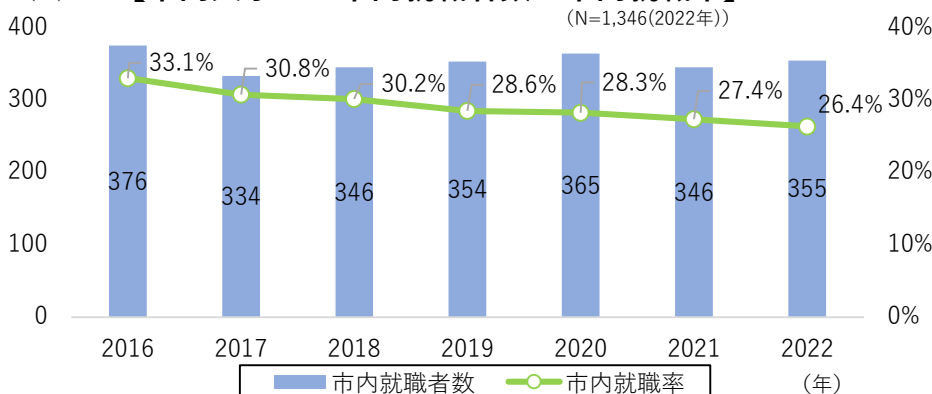


資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

意識関連データ

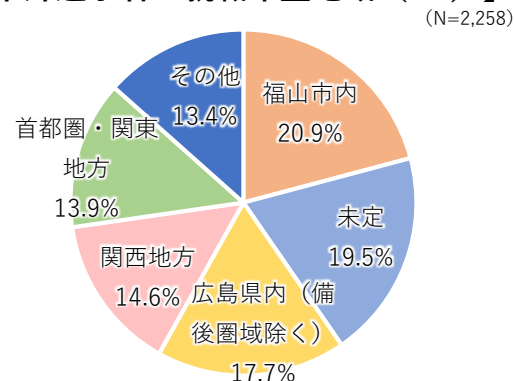
- 市内大学生の市内就職率は約3割で、市外に進学した市外大学生の市内の就職希望は約2割となっています。
- 就職の条件は、賃金条件や雇用条件の充実が最も多く、次いで企業の知名度や駅前の魅力向上を望む声が多くなっています。また、市内に実家があり市外に就職した人は、市内に就職した人に比べて、自分のやりたい仕事がある、職場の雰囲気が良い、福利厚生が充実している、成長が見込まれることが就職先を選んだ理由として高くなっています。

【市内大学生の市内就職者数と市内就職率】



資料：福山市「大学生の就職に関する調査」(2023年4月)

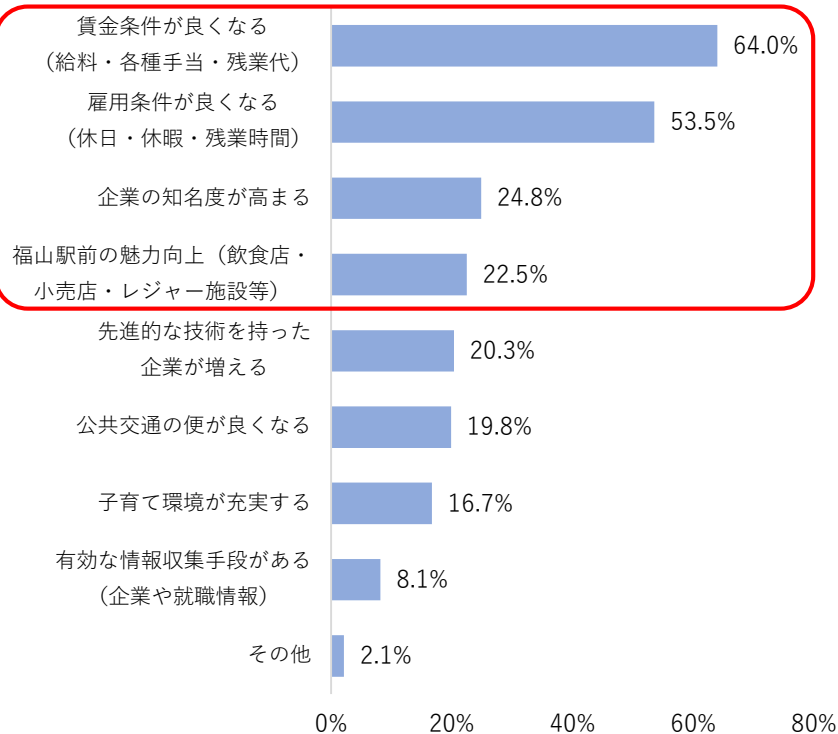
【市外進学者の就職希望地域 (SA)】



資料：福山市「ふるさと学生応援バックアンケート調査」(2021年12月)

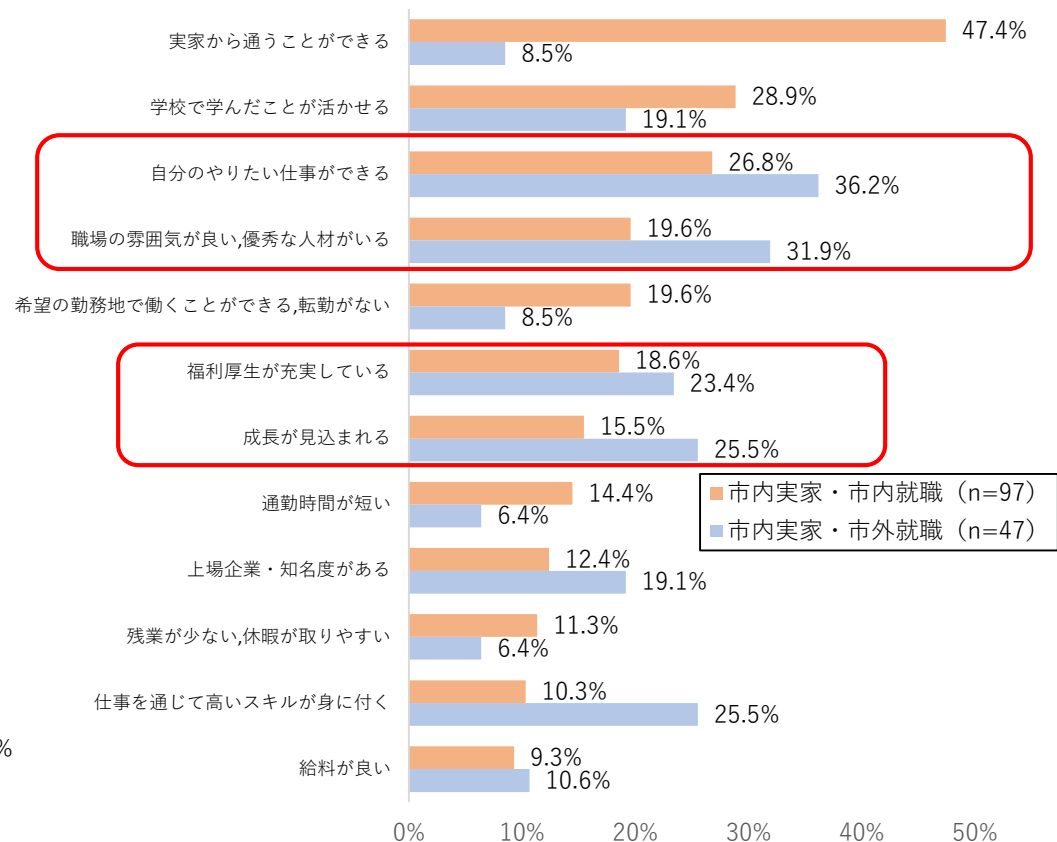
【市内の企業へ就職したいと思う条件（MA）】

(N=2,258)



資料：福山市「ふるさと学生応援パックアンケート調査」(2021年12月)

【就職先を選択した理由（3つまで選択）】



資料：福山市「市内大学生等への就職に関するアンケート調査」(2023年11月～2024年1月)

ペルソナ設定



③ 福山で就職するかどうか悩んでいる 大学3年生

福山で就職するかどうか悩んでいる。地元企業のことすら分からなくて不安。

自分のやりたい仕事ができる職場や福利厚生がしっかりしている職場で働きたいな。

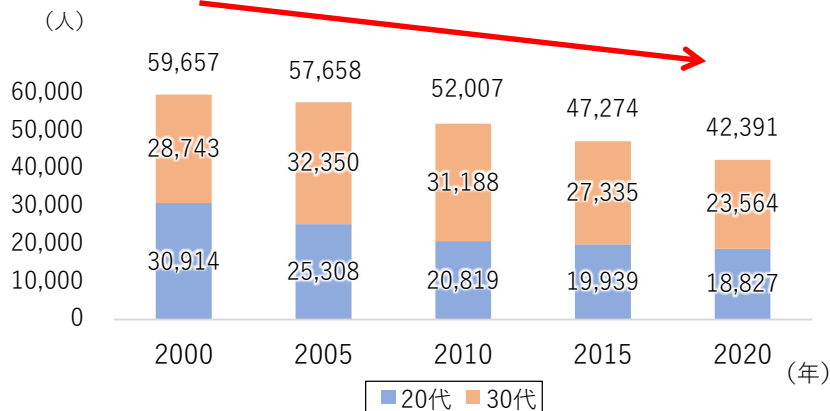
福山駅周辺の魅力が高まり、にぎわいが増えるといいな。

20～30歳代・結婚・子育て期

人口関連データ

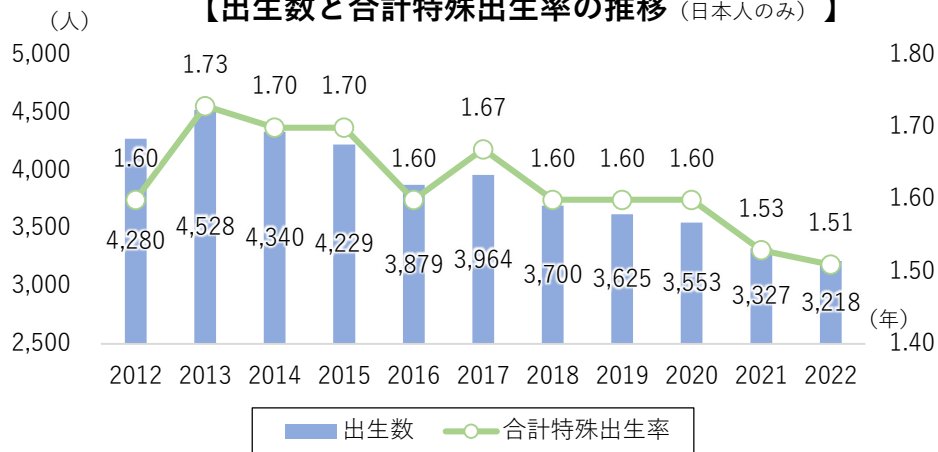
- 20～30歳代の女性の数が減少し続けています。
- 合計特殊出生率は、全国や広島県と比べて高い数値を維持しているものの、下降傾向が続いていることに加え、若い世代の女性の数が減少していることが、出生数の減少に影響しています。
- 未婚率についても、特に25歳から34歳の数値が上昇しており、未婚率が高くなっています。

【20歳代・30歳代女性の人口（日本人のみ）】



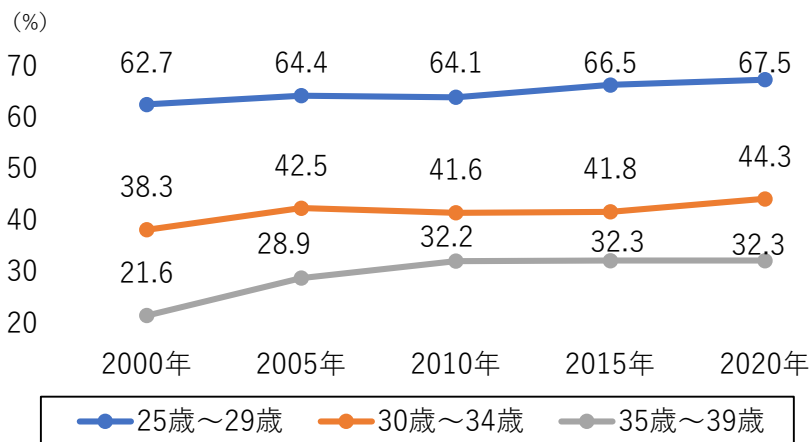
資料：総務省「国勢調査」

【出生数と合計特殊出生率の推移（日本人のみ）】



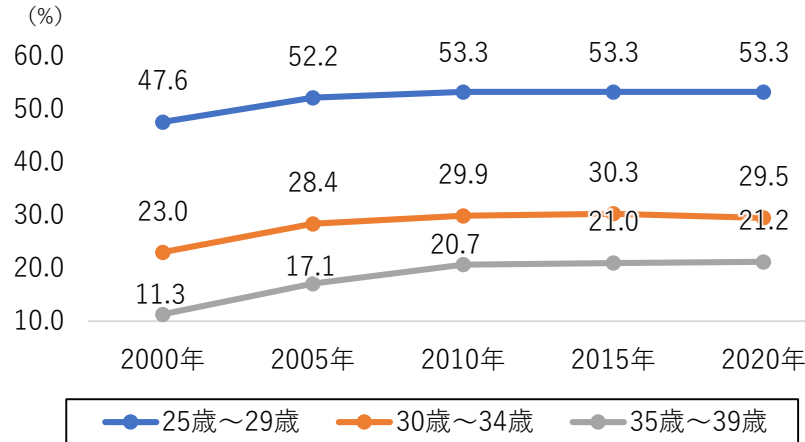
資料：福山市「福山市人口動態」

【男性未婚率の推移（外国人を含む）】



資料：総務省「国勢調査」

【女性未婚率の推移（外国人を含む）】

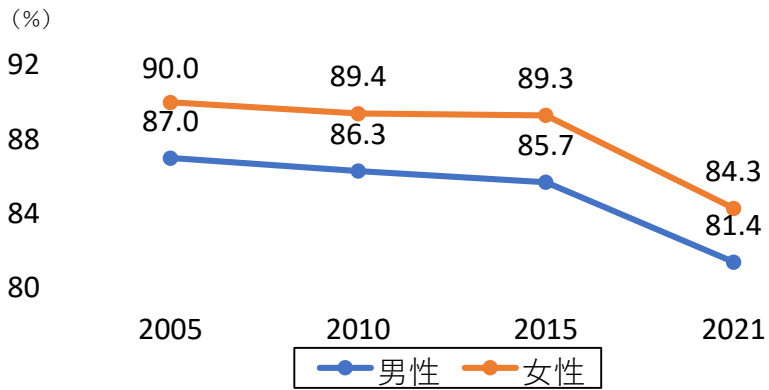


出会い・結婚

意識関連データ

- 「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者が減少しているものの、**8割以上が結婚するつもり**と回答しています。
- 現在独身でいる理由の多くは**男女ともに「適当な相手とまだめぐり合わないから」**となっています。

【「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者（18歳～34歳）の割合】



資料：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」（2021年6月）

【未婚者が独身でいる主な理由】

- 【25歳～34歳 男性】**
 - ①適当な相手とまだめぐり合わないから 43.3%
 - ②独身の自由さや気楽さを失いたくないから 26.6%
- 【25歳～34歳 女性】**
 - ①適当な相手とまだめぐり合わないから 48.1%
 - ②独身の自由さや気楽さを失いたくないから 31.0%

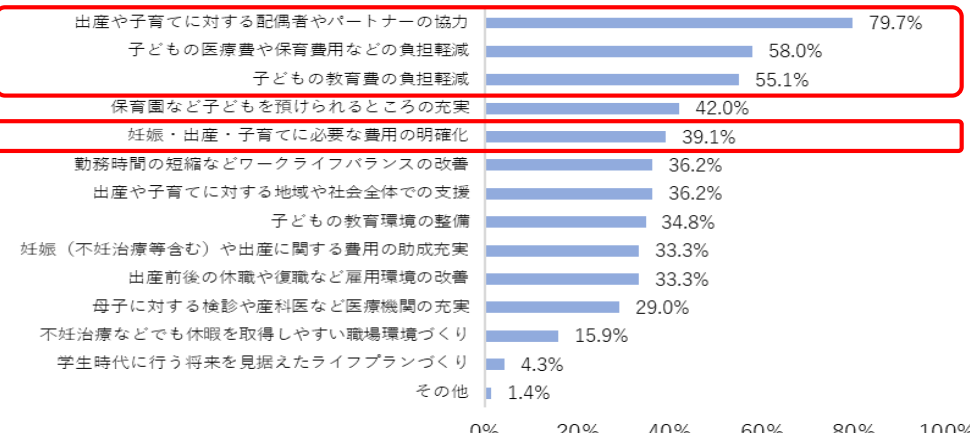
妊娠希望

意識関連データ

- 理想の子どもの人数をもつための条件として、**配偶者やパートナーの協力、妊娠・出産に関する費用への支援や子育てを含めた必要な費用の明確化**が求められています。

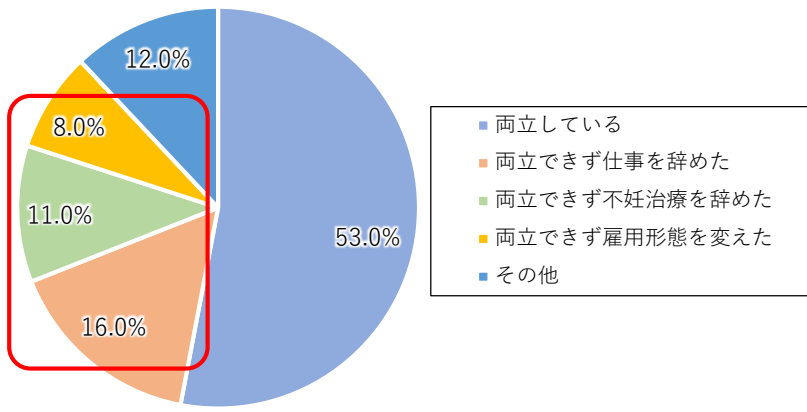
【理想の子どもの人数をもつための条件（MA）】

(N=69)



【仕事と不妊治療の両立状況（SA）】

(N=265)



資料：福山市「市政に対するニーズ把握のための定量調査」（2018年）
福山市在住、既婚の回答者を集計

資料：厚生労働省「不妊治療と仕事の両立に係る諸問題についての総合的調査研究事業」（2017年）

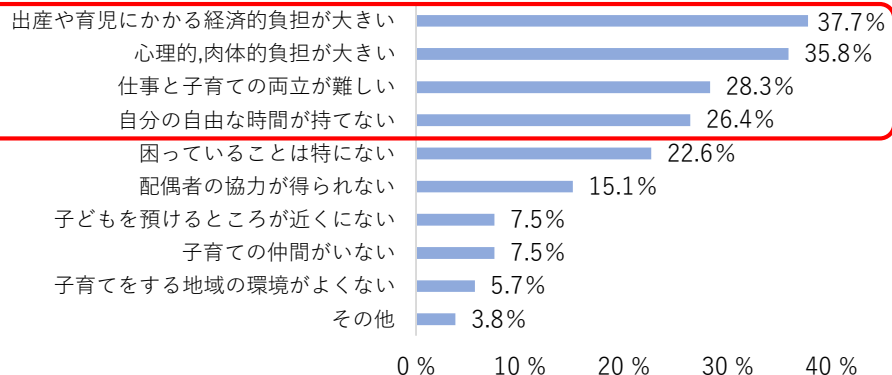
子育て中

意識関連データ

- 子育てをする上で、**出産や育児にかかる経済的負担、心理的・肉体的負担の大きさや、仕事と子育ての両立の難しさに不安や悩み**を抱えています。仕事と子育ての両立には、**職場の理解向上や配偶者の協力、保育施設などの充実**を求める声が多くなっています。
- また、さらに取り組む必要があると思うことについては、**経済的負担の軽減や保育サービスの充実に加え、仕事と子育てを両立するための働き方改革の充実、教育環境の充実、保育施設や放課後児童クラブの充実**を求める声が多いですが、子育て世帯では**親子で気軽に出かけられる場所や遊べる場所の充実**を求める声も多くなっています。
- ひとり親世帯では、**子どもの教育費や進学先・受験に関する悩み**が多くなっています。困っていることは、家計をあげる人が最も多くなっています。

【子育てをする上での不安や悩み (MA)】

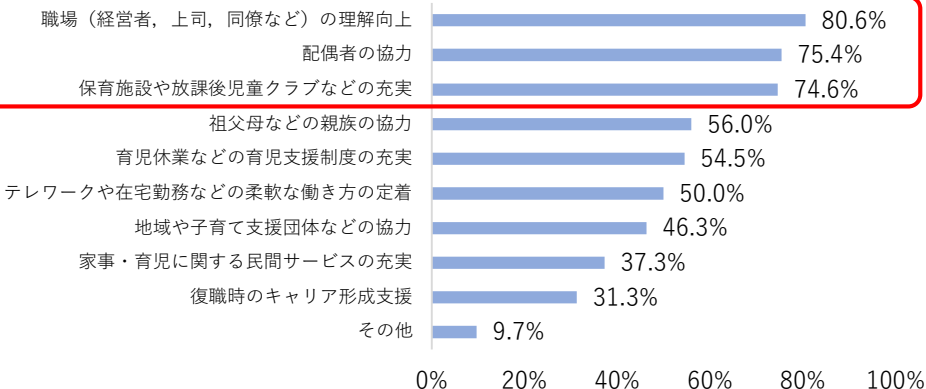
(N=53)



資料：福山市「市政に対するニーズ把握のための定量調査」(2018年)
福山市在住、既婚、子どもありの回答者を集計

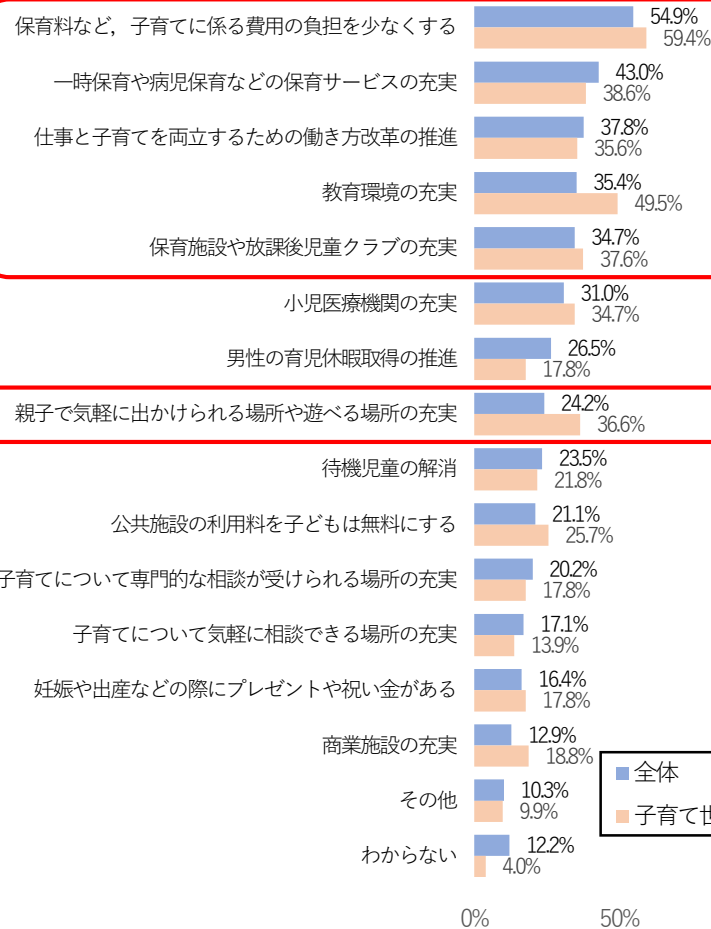
【仕事と子育てを両立するために効果的なこと (MA)】

(N=523)



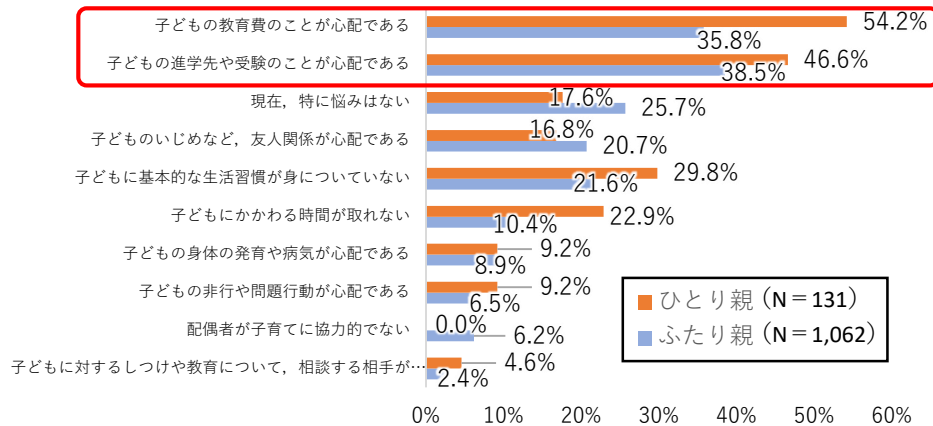
資料：福山市「2021年度(令和3年度)第2回福山市市政モニター調査」(2021年8月)
子育て世帯の回答者を集計

【子育て施策でさらに取り組む必要があると思うこと (5つまで選択)】



資料：福山市「2022年度(令和4年度)第3回福山市市政モニター調査」(2022年11月) 38
子育て世帯の回答者を集計

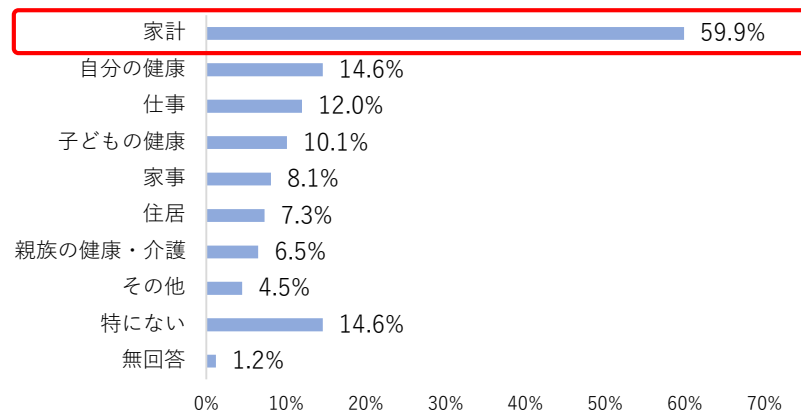
【子どもについて悩んでいること (MA)】



資料：福山市「福山市子どもの生活に関する実態調査」(2023年)
小学5年生保護者

【母子世帯の母が現在困っていること (MA)】

(N=644)



資料：広島県「ひとり親家庭等自立支援施策の需要調査」(2019年10月)
母子世帯の回答

ペルソナ設定



④ 結婚を希望している25～39歳 未婚男女

結婚を考えたけれど、なかなかいい出会いがない

結婚後、仕事と家事・育児を両立できるか不安。



⑤ 3人目を考えている25～39歳 子育て共働き女性

3人目を考えているけれど、経済面の不安だけでなく、夫の育児参加にも不満。

夫の会社に休暇制度はあるけれど、子どもの体調不良などで休むのはいつも私。

近くに家族で楽しめる場所があるといいな。



⑥ 妊娠を希望している25～39歳 共働き主婦

結婚して3年。そろそろ子どもが欲しいが、経済面で不安。

不妊治療にも行きたいけれど、仕事との両立が難しい。



⑦ 二人の子どもを育てている25～39歳 シングルマザー

子育てや教育にお金がかかるので、経済的に不安。

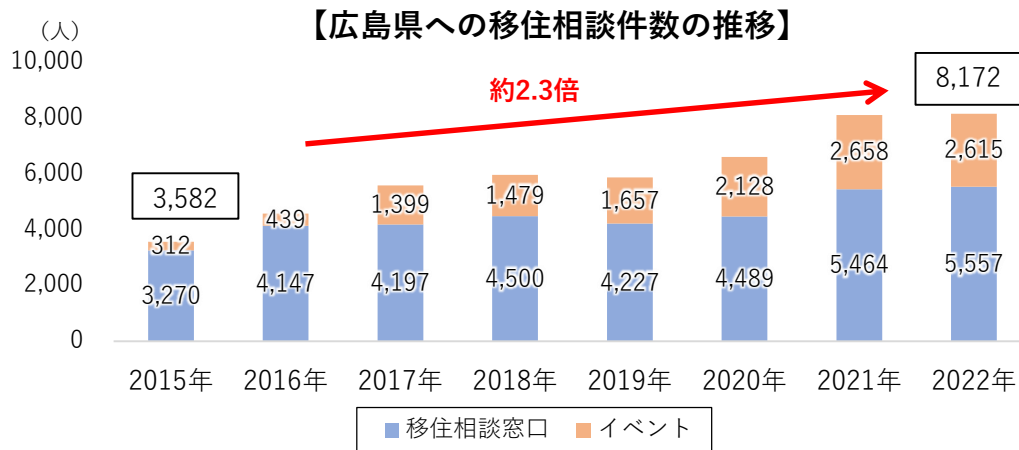
頼れる人や気軽に相談できる人が近くにいたらいいな。

子育てとの両立がしやすい、柔軟な働き方ができる職場で働きたい。

20～30歳代・移住

人口関連データ

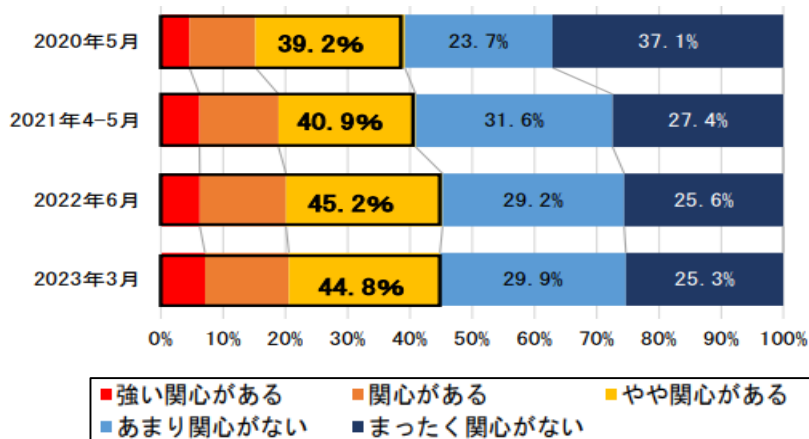
- ・ 広島県への移住相談件数は年々増加し、2022年（令和4年）には2015年（平成27年）の2倍以上に増えるなど、移住への関心が高まっています。



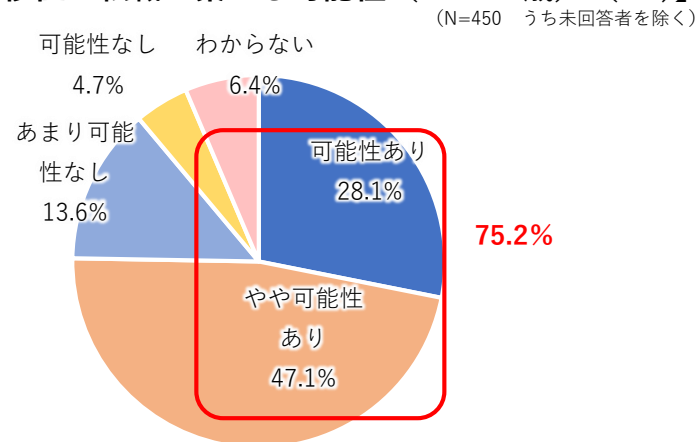
意識関連データ

- ・ 若い世代の地方移住への関心が高まっており、地方での関わりを通じて地方移住や転職に繋がる可能性も高くなっています。
- ・ 自分のキャリアを生かした仕事や地域に密着した仕事を希望していますが、移住先で仕事を見つけることがハードルとなっています。
- ・ 移住を検討している子育て世帯は、子育てや教育に関する支援や環境を特に重視しています。

【地方移住への関心（東京圏在住者）（20歳代）（SA）】

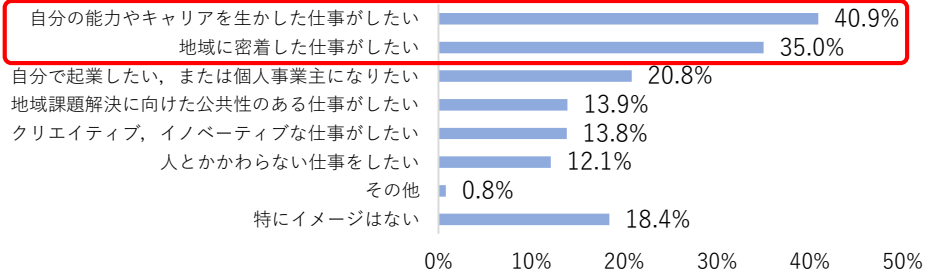


【地方副業後、移住・転職に繋がる可能性（35～44歳）（SA）】



【地方圏でやりたい仕事のイメージ (MA)】

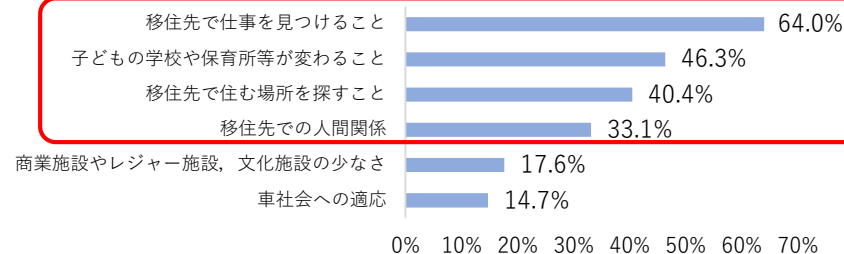
(N=1,648)



資料：内閣官房「東京圏以外の地域（地方圏）での暮らしの意識・行動を把握するためのWEBアンケート調査」（2020年1月）

【移住のハードル (MA)】

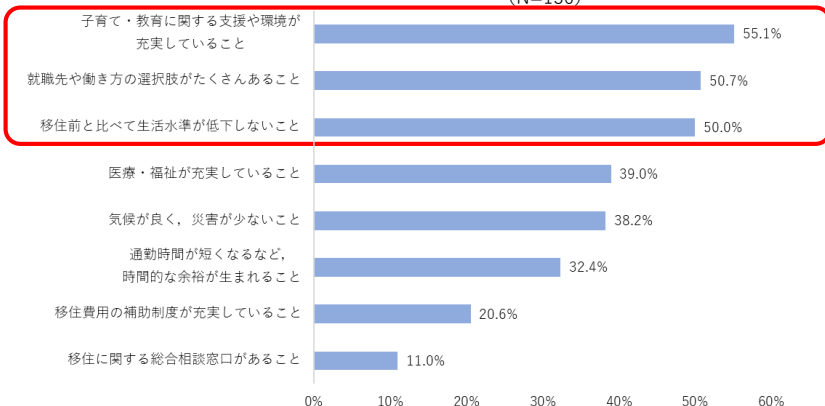
(N=136)



資料：福山市「福山移住に関するアンケート」（2021年3月）
30~40歳代、子ども（小学生未満）と同居している回答者を集計

【移住先で重視すること (MA)】

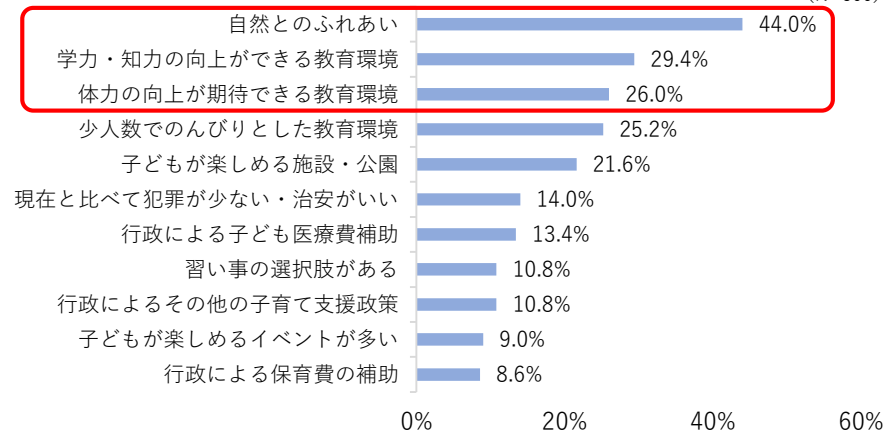
(N=136)



資料：福山市「福山移住に関するアンケート」（2021年3月）
30~40歳代、子ども（小学生未満）と同居している回答者を集計

【移住先の子育て環境で重視する条件 (上位10項目) (MA)】

(N=500)



資料：一般社団法人移住・交流推進機構「コロナ禍における若者の移住動向調査」（2022年3月）

ペルソナ設定

- ⑧ 地方での「働く・暮らす」に関心がある
25~39歳 **未婚の会社員**



住む場所に制限されない働き方を実現したいが、なかなか一歩が踏み出せない。

地方への関心が高まっているが、地域の人や地元企業との関わりがなく、暮らしや働き方のイメージが湧かない。

- ⑨ 一家で移住を考えている25~39歳
既婚の会社員



自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

関西圏などの企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で生かしたい。